



<b>A</b>	
ABR	34-27
access-class コマンド	31-20
ACE	
IP	31-2
QoS	32-10
イーサネット	31-2
定義	31-2
ACL	
ACE	31-2
any キーワード	31-13
host キーワード	31-13
IP	
暗黙的な拒否	31-9, 31-15, 31-17
一致条件	31-7
違反、ログ	31-16
インターフェイスへの適用	31-20
作成	31-7
端末回線、適用	31-19
名前指定	31-15
フラグメントおよび QoS に関する注意事項	32-49
マスクの省略	31-9
未定義	31-21
log キーワード	31-16
MAC 拡張	31-28, 32-62
QoS	32-10, 32-60
QoS クラス マップあたりの個数	32-49
QoS に関するトラフィックの分類	32-60
VLAN マップ	
設定	31-31
設定時の注意事項	31-32
VLAN マップとの組み合わせ	31-38
アクションの制限	31-39
エントリの再順番付け	31-15
拡張 IP	
QoS 分類用の設定	32-60
一致条件	31-7
作成	31-10
コメント	31-19
サポートされている機能	31-22
サポートされない機能	31-7
時間範囲	31-17
照合	31-7, 31-21
定義	31-2, 31-7
適用	
QoS への適用	32-10
インターフェイスへの適用	31-20
時間範囲	31-17
スイッチド パケット上	31-39
ブリッジド パケット上	31-40
マルチキャスト パケット上	31-41
ルーテッド パケット上	31-40
名前指定	31-15
ハードウェアおよびソフトウェア処理	31-22
番号	31-8
標準 IP	
QoS 分類用の設定	32-60
一致条件	31-7
作成	31-9
編集	31-22
ポート	31-2
モニタ	31-42
優先順位	31-3
ルータ	31-2
ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する 方法	31-38
例	31-22, 32-60
ログ メッセージ	31-10
ACL エントリの再順番付け	31-15
ACL の時間範囲	31-17
Address Resolution Protocol	
ARP を参照	

## Any Transport over MPLS

AToM を参照

## Area Border Router

ABR を参照

## ARP

カプセル化 34-10

スタティック キャッシュの設定 34-9

設定 34-9

定義 6-30, 34-9

## ARP テーブル

アドレス解決 6-30

管理 6-30

## AS パス フィルタ、BGP 34-57

## ASBR 34-27

## AS、BGP 内 34-50

## AToM 37-15

## Autonomous System Boundary Router

ASBR を参照

## Auxiliary VLAN

音声 VLAN を参照

## B

## BackboneFast

イネーブル化 19-14

説明 19-6

## BGP

CIDR 34-63

clear コマンド 34-66

multi-VRF CE によるルーティング セッション  
34-84

show コマンド 34-66

イネーブル化 34-50

コミュニティ フィルタリング 34-59

集約アドレス 34-63

集約ルート、設定 34-63

スーパーネット 34-63

セッションのリセット 34-53

説明 34-47

デフォルト設定 34-48

ネイバの設定 34-61

ネイバ、タイプ 34-50

バージョン 4 34-47

パスの選択 34-54

ピアの設定 34-61

プレフィクス フィルタリング 34-58

マルチパス サポート 34-54

モニタ 34-66

ルーティング セッションの設定 37-10

ルーティング ドメイン連合 34-63

ルート ダンピング化 34-65

ルート マップ 34-56

ルート リフレクタ 34-64

## Border Gateway Protocol

BGP を参照

## BPDU

errdisable ステート 19-3

RSTP フォーマット 18-13

フィルタリング 19-3

## BPDU ガード

イネーブル化 19-11

説明 19-3

## BPDU フィルタリング

イネーブル化 19-12

説明 19-3

## C

## CA トラストポイント

設定 8-46

定義 8-43

## CBWFQ

設定

DSCP ベース WRED 32-110

IP precedence ベース WRED 32-114

テール ドロップ 32-107

説明 32-35

## CDP

アップデート 25-2

イネーブル化またはディセーブル化

インターフェイス上 25-4

スイッチ上 25-3

概要 25-1

信頼境界 32-56

設定 25-2

説明 25-1

タイマーおよびホールドタイム、設定 25-2

デフォルト設定 25-2

モニタ 25-5

ルーティング デバイスでのディセーブル化  
25-3, 25-4

レイヤ 2 プロトコル トネリング 16-13

- CEF 34-90
  - CFM
    - OAM マネージャ 36-10
    - SNMP トラップ 36-5
    - クロスチェック 36-4
    - クロスチェックの設定 36-8
    - コンフィギュレーション サービス 36-7
    - スイッチの設定 36-6
    - 設定時の注意事項 36-5
    - 定義 36-2
    - デフォルト設定 36-5
    - メッセージのタイプ 36-4
    - メンテナンス ドメイン 36-2
    - メンテナンス ポイント 36-4
    - モニタ 36-9
  - CGMP
    - IGMP スヌーピング学習方式 23-9
    - 概要 38-8
    - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 38-54
    - サーバ サポート機能 38-8
    - サーバ サポート機能のイネーブル化 38-35
    - マルチキャスト グループへの加入 23-3
  - CIDR 34-63
  - CipherSuite 8-44
  - Cisco 7960 IP Phone 15-2
  - Cisco Discovery Protocol
    - CDP を参照
  - Cisco Express Forwarding
    - CEF を参照
  - Cisco Group Management Protocol
    - CGMP を参照
  - Cisco IOS DHCP サーバ
    - DHCP を参照
  - Cisco IOS File System 1-4
  - CiscoWorks2000 1-3, 30-4
  - CIST リージョン ルート
    - MSTP を参照
  - CIST ルート
    - MSTP を参照
  - Classless Interdomain Routing
    - CIDR を参照
  - CLI
    - エラー メッセージ 2-5
    - クラスタの管理 4-4
    - コマンド モード 2-2
    - コマンドの no および default 形式 2-5
    - コマンドの出力のフィルタリング 2-10
    - コマンドの省略形 2-4
    - ヒストリ
      - コマンドの呼び出し方法 2-6
      - 説明 2-6
      - ディセーブル化 2-7
      - バッファ サイズの変更 2-6
    - ヘルプの利用方法 2-4
    - 編集機能
      - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
      - 折り返し機能 2-10
      - キーストロークによる編集 2-8
  - CLNS
    - ISO CLNS を参照
  - CNS
    - Configuration Engine
      - configID、deviceID、ホスト名 5-4
      - イベント サービス 5-3
      - コンフィギュレーション サービス 5-3
      - 説明 5-2
    - アップグレード用 5-13
    - 組み込みエージェント
      - イベント エージェントのイネーブル化 5-9
      - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 5-10
      - 自動設定のイネーブル化 5-8
      - 説明 5-6
  - CNS によるアップグレード 5-13
  - config.text 3-12
  - configure terminal コマンド 10-8
  - config-vlan モード 2-2, 12-8
  - Connectivity Fault Management
    - CFM を参照
  - CoS
    - デフォルト ポート値の設定 32-55
    - プライオリティの信頼 15-7
    - プライオリティの無効化 15-7
    - レイヤ 2 フレーム 32-3
  - crashinfo ファイル 41-22
- D**
- default コマンド 2-5
  - description コマンド 10-19

## DHCP

- Cisco IOS サーバ データベース
  - 設定 21-14
  - 説明 21-7
  - デフォルト設定 21-9
- イネーブル化
  - サーバ 21-11
  - リレー エージェント 21-11
- DHCP Option 82
  - 回線 ID サブオプション 21-5
  - 概要 21-4
  - サポート 1-3
  - 設定時の注意事項 21-10
  - デフォルト設定 21-9
  - 転送アドレス、指定 21-11
  - パケットフォーマット、サブオプション
    - 回線 ID 21-5
    - リモート ID 21-5
  - 表示 21-16
  - ヘルパー アドレス 21-11
  - リモート ID サブオプション 21-5
- DHCP スヌーピング
  - Option 82 データ挿入 21-4
  - エッジスイッチから信頼できないパケットの受信 21-3, 21-13
  - 信頼できないインターフェイス 21-3
  - 信頼できないメッセージ 21-3
  - 信頼できるインターフェイス 21-3
  - 設定時の注意事項 21-10
  - デフォルト設定 21-9
  - バインディング データベース
    - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
  - バインディング テーブルの表示 21-16
  - プライベート VLAN 21-14
  - メッセージ交換プロセス 21-4
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
  - イネーブル化 21-15
  - エージェントの統計情報 21-15
  - エントリ 21-7
  - 削除
    - データベース エージェント 21-15
    - バインディング 21-15
    - バインディング ファイル 21-15
  - 設定 21-15
  - 設定時の注意事項 21-10
  - 説明 21-7

- データベースの更新 21-15
- デフォルト設定 21-9
- バインディング 21-7
- バインディング ファイル
  - フォーマット 21-8
  - 保管場所 21-7
- バインディングの追加 21-15
- 表示 21-16
  - ステータスおよび統計情報 21-16
- リセット
  - タイムアウト値 21-15
  - 遅延値 21-15
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
  - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
  - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
  - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
  - BOOTP クライアント機能 3-4
  - 概要 3-4
  - クライアント要求メッセージの交換 3-4
  - 構成例 3-9
  - 設定
    - DNS 3-7
    - TFTP サーバ 3-6
    - クライアント側 3-4
    - サーバ側 3-5, 21-11
    - リレー デバイス 3-7
  - リース オプション
    - IP アドレス情報 3-5
    - コンフィギュレーション ファイル受信 3-6
- Differentiated Services Code Point
  - DSCP を参照
- Differentiated Services アーキテクチャ、QoS 32-3
- Diffusing Update Algorithm (DUAL) 34-39
- Distance Vector Multicast Routing Protocol
  - DVMRP を参照
- distribute-list コマンド 34-101
- DNS
  - DHCP ベースの自動設定 3-7
  - 概要 6-17
  - 設定 6-17
  - 設定の表示 6-18

- デフォルト設定 6-17
- DoS 攻撃 24-2
- dot1q-tunnel スイッチポート モード 12-20
- DSCP 32-3
- DSCP トランスペアレンシ 32-57
- DTP 12-19
- DUAL 有限状態マシン、EIGRP 34-40
- DVMRP
  - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 38-42
  - mrinfo 要求、応答 38-45
  - 概要 38-8
  - 自動サマライズ
    - サマリー アドレスの設定 38-50
    - ディセーブル化 38-52
  - 相互運用
    - IOS ソフトウェア 38-8
    - シスコ製デバイス 38-40
  - 送信元配信ツリー、構築 38-8
  - トンネル
    - 設定 38-42
    - ネイバ情報の表示 38-45
  - ネイバ
    - 情報の表示 38-45
    - デフォルト ルートのアドバタイズ 38-44
    - 非プルーニング ネイバとのピアリングの禁止 38-48
    - 非プルーニング ネイバの拒否 38-47
    - プローブ メッセージによる検出 38-40
  - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 38-46
  - ルーティング テーブル 38-8
  - ルート
    - MBONE に入る個数の制限 38-49
    - Syslog メッセージのスレッシユホールドの変更 38-49
    - 削除 38-54
    - すべてをアドバタイズ 38-52
    - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 38-44
    - 表示 38-55
    - メトリック オフセットの追加 38-52
    - 優先度 38-52
    - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 38-40
    - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシング 38-46
- dynamic auto トランキンング モード 12-20
- dynamic desirable トランキンング モード 12-20
- Dynamic Host Configuration Protocol
  - DHCP ベースの自動設定を参照
- Dynamic Trunking Protocol
  - DTP を参照
- E
  - EBGP 34-46, 37-7
  - EIGRP
    - IGRP 34-41
    - インターフェイス パラメータ、設定 34-43
    - コンポーネント 34-39
    - 設定 34-42
    - 定義 34-39
    - デフォルト設定 34-40
    - 認証 34-44
    - モニタ 34-45
  - E-LMI
    - OAM マネージャ 36-10
    - イネーブル化 36-14
    - 情報 36-10
    - 定義 36-10
    - デフォルト設定 36-11
    - モニタ 36-15
  - Enhanced IGRP
    - EIGRP を参照
  - Enhanced-Services インターフェイス
    - ES インターフェイスを参照
  - EoMPLS
    - 802.1Q トンネリング 37-16
    - QoS 37-17, 37-21
    - 制限事項 37-17
    - 設定 37-18
    - デフォルト設定 37-18
    - パケット フロー 37-20
    - モニタ 37-26
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 37-16
  - ES インターフェイス 10-3, 10-8, 37-1
  - EtherChannel
    - 802.3ad、説明 33-6
    - LACP
      - システム プライオリティ 33-19
      - ステータスの表示 33-21
      - 説明 33-6
      - ポート プライオリティ 33-20

- 他の機能との相互作用 33-6
- ホットスタンバイ ポート 33-18
- モード 33-6
- PAgP
  - Catalyst 1900 との互換性 33-17
  - 学習方式およびプライオリティの設定 33-17
  - サイレント モード 33-5
  - 集約ポート ラーナー 33-17
  - ステータスの表示 33-21
  - 説明 33-4
  - 他の機能との相互作用 33-5
  - モード 33-5
- インターフェイスの個数 33-3
- 自動作成 33-4, 33-6
- ステータスの表示 33-21
- 設定
  - レイヤ 3 物理インターフェイス 33-14
  - レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス 33-13
- 設定時の注意事項 33-10
- 説明 33-2
- 相互作用
  - STP 33-10
  - VLAN 33-10
- チャンネル グループ
  - 番号 33-3
  - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 33-3
- デフォルト設定 33-9
- 転送方式 33-7, 33-16
- ポート グループ 10-6
- ポートチャンネル インターフェイス
  - 説明 33-3
  - 番号 33-3
- レイヤ 2 インターフェイスの設定 33-11
- レイヤ 3 インターフェイス 34-4
- ロードバランシング 33-7, 33-16
- 論理インターフェイス、説明 33-3
- EtherChannel ガード
  - イネーブル化 19-15
  - 説明 19-8
  - ディセーブル化 19-15
- Ethernet Link Management Interface
  - E-LMI を参照
- Ethernet over MPLS
  - EoMPLS を参照
- Ethernet Virtual Connection
  - EVC を参照
- EVC
  - CFM ドメイン内 36-10
  - 設定 36-12
- EXP ビット、MPLS プライオリティの設定 37-23
- Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2
- External BGP
  - EBGP を参照
- F
  - FIB 34-90
  - Flex Link
    - 設定 20-6
    - 設定時の注意事項 20-5
    - 説明 20-2
    - デフォルト設定 20-5
    - モニタ 20-10
  - Forwarding Information Base
    - FIB を参照
  - FTP
    - MIB ファイルへのアクセス A-4
    - イメージファイル
      - アップロード B-29
      - サーバの準備 B-26
      - ダウンロード B-27
      - 古いイメージの削除 B-29
    - コンフィギュレーション ファイル
      - アップロード B-15
      - 概要 B-13
      - サーバの準備 B-14
      - ダウンロード B-14
- G
  - get-bulk-request 動作 30-3
  - get-next-request 動作 30-3, 30-5
  - get-request 動作 30-3, 30-4, 30-5
  - get-response 動作 30-3
- H
  - hello タイム
    - MSTP 18-23

- STP 17-21
  - Hot Standby Router Protocol
    - HSRP を参照
  - HP OpenView 1-3
  - HSRP
    - イネーブル化 35-5
    - 概要 35-2
    - 設定 35-4
    - タイマー 35-8
    - 注意事項 35-4
    - 追跡 35-6
    - 定義 35-1
    - デフォルト設定 35-4
    - 認証ストリング 35-8
    - プライオリティ 35-6
    - モニタ 35-10
  - HTTP over SSL
    - HTTPS を参照
  - HTTP セキュア サーバ 8-43
  - HTTPS 8-43
    - 自己署名証明書 8-44
    - 設定 8-46
- I
- IBGP 34-46, 37-7
  - ICMP
    - time exceeded メッセージ 41-15
    - traceroute 41-15
    - 到達不能メッセージ 31-20
    - 到達不能、ACL 31-22
    - リダイレクト メッセージ 34-12
  - ICMP ping
    - 概要 41-11
    - 実行 41-11
  - ICMP Router Discovery Protocol
    - IRDP を参照
  - IDS 装置
    - 入力 RSPAN 27-23
    - 入力 SPAN 27-15
  - IEEE 802.1ag 36-2
  - IEEE 802.1D
    - STP を参照
  - IEEE 802.1p 15-2
  - IEEE 802.1Q
    - カプセル化 12-19
    - 設定に関する注意事項 12-21
    - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-27
    - トランク ポート 10-4
    - トンネリング
      - 説明 16-2
      - 他の機能との互換性 16-7
      - デフォルト 16-5
      - トンネル ポートと他の機能を併用する場合 16-7
    - IEEE 802.1s
      - MSTP を参照
    - IEEE 802.1w
      - RSTP を参照
    - IEEE 802.1x
      - ポートベースの認証も参照
    - IEEE 802.1x アカウンティング 9-24
    - IEEE 802.1x で許可されたポート 9-4
    - IEEE 802.1x で許可されていないポート 9-4
    - IEEE 802.3ad
      - EtherChannel を参照
    - IEEE 802.3x フロー制御 10-16
    - IGMP
      - Join メッセージ 23-3
      - 概要 38-3
      - キャッシュ エントリの削除 38-54
      - クエリー 23-4
      - グループへのアクセスの制御 38-30
      - 高速スイッチング 38-34
      - スイッチの設定
        - グループのメンバー 38-29
        - スタティックに接続されたメンバー 38-34
      - 即時脱退処理、イネーブル化 23-11
      - デフォルト設定 38-29
      - 統計情報の表示 38-55
      - バージョン 1
        - 説明 38-3
        - バージョン 2 への変更 38-31
      - バージョン 2
        - クエリー タイムアウト 38-33
        - グループのプルーニング 38-33
        - 最大クエリー応答時間 38-33
        - 説明 38-4
        - バージョン 1 への変更 38-31
      - ホストクエリー インターバル、変更 38-32
      - マルチキャスト グループからの脱退 23-5
      - マルチキャスト グループへの加入 23-3

- マルチキャストの到達可能性 38-29
  - レポートの抑制
    - 説明 23-6
    - ディセーブル化 23-13
- IGMP グループ
  - 最大数の設定 23-27
  - フィルタリングの設定 23-28
- IGMP スヌーピング
  - VLAN コンフィギュレーション 23-8
  - アドレスのエイリアス 23-2
  - イネーブル化またはディセーブル化 23-7
    - クエリア
      - 設定 23-11
      - 設定時の注意事項 23-11
    - グローバル コンフィギュレーション 23-7
      - 設定 23-7
      - 即時脱退 23-6
      - 定義 23-2
      - デフォルト設定 23-7
      - 方式 23-8
      - モニタ 23-14
- IGMP スロットリング
  - アクションの表示 23-29
  - 設定 23-28
  - 説明 23-24
  - デフォルト設定 23-25
- IGMP フィルタリング
  - 設定 23-25
  - 説明 23-24
  - デフォルト設定 23-25
  - モニタ 23-29
- IGMP プロファイル
  - コンフィギュレーション モード 23-25
    - 設定 23-25
    - 適用 23-26
- IGP 34-27
- IGRP
  - スプリット ホライズン 34-25
- interface range macro コマンド 10-11
- interface コマンド 10-8
- Interior Gateway Protocol
  - IGP を参照
- Interior Gateway Routing Protocol
  - IGRP を参照
- Intermediate-System-to-Intermediate-System プロトコル
  - IS-IS を参照
- Internal BGP
  - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
  - ICMP を参照
- Internet Group Management Protocol
  - IGMP を参照
- ip access group コマンド 31-21
- IP ACL
  - QoS 分類 32-10
  - 暗黙的な拒否 31-9, 31-15, 31-17
  - 拡張、作成 31-10
  - 仮想端末回線、設定 31-19
  - 名前指定 31-15
  - 標準、作成 31-9
  - マスクの省略 31-9
  - 未定義 31-21
  - ログ メッセージ 31-16
- ip igmp profile コマンド 23-25
- IP Phone
  - QoS 15-2
  - QoS によるポートセキュリティの確保 32-56
  - QoS の信頼境界 32-56
  - 自動的な分類とキューイング 32-37
    - 設定 15-5
- IP precedence 32-3
- IP traceroute
  - 概要 41-15
  - 実行 41-15
- IP アドレス
  - IP 情報も参照
  - IP ルーティング用 34-5
  - MAC アドレスとの相互作用 34-8
    - 解決 6-30
    - クラス 34-6
    - 候補またはメンバー 4-3
    - コマンド スイッチ 4-2
    - デフォルト設定 34-5
    - モニタ 34-18
- IP 指定ブロードキャスト 34-14
- IP 情報
  - デフォルト設定 3-3
  - 割り当て
    - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
    - 手動 3-10
- IP ソース ガード
  - DHCP スヌーピング 21-17



- EtherChannel 21-18
- IEEE 802.1x 21-18
- TCAM エントリ 21-18
- VRF 21-18
- イネーブル化 21-19
- スタティック バインディング
  - 削除 21-19
  - 追加 21-19
- 設定時の注意事項 21-18
- 説明 21-17
- 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-17
- 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-17
- ディセーブル化 21-19
- デフォルト設定 21-18
- トランク インターフェイス 21-18
- バインディング テーブル 21-17
- バインディング設定
  - 自動 21-17
  - 手動 21-17
- 表示
  - 設定 21-20
  - バインディング 21-20
  - フィルタリング
    - 送信元 IP アドレス 21-17
    - 送信元 IP および MAC アドレス 21-17
  - プライベート VLAN 21-18
  - ポート セキュリティ 21-18
  - ルーテッドポート 21-18
- IP ブロードキャスト アドレス 34-16
- IP プロトコル、ACL 31-12
- IP マルチキャスト ルーティング
  - CGMP も参照
  - DVMRP も参照
  - IGMP スヌーピング 23-2
  - IGMP も参照
  - MBONE
    - sdr キャッシュ エントリの削除 38-54
    - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 38-37
    - sdr キャッシュのモニタ 38-55
    - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 38-36
    - Session Directory (sdr) ツール、説明 38-36
    - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 38-49
  - 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 38-36
  - 説明 38-36
  - PIM も参照
  - PIMv1 と PIMv2 のインターオペラビリティ 38-10
  - Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 38-7
  - RP
    - PIMv2 BSR の設定 38-19
    - 自動 RP および BSR の使用法 38-23
    - 自動 RP の設定 38-14
    - 手動割り当て 38-13
    - マッピング情報のモニタ 38-24
  - アドレス
    - すべてのホスト 38-3
    - すべてのマルチキャスト ルータ 38-3
    - ホスト グループ アドレス範囲 38-3
  - イネーブル化
    - PIM のモード 38-12
    - マルチキャスト 転送 38-11
  - 管理の有効範囲付き境界、説明 38-37
  - グループ /RP マッピング
    - BSR 38-6
    - 自動 RP 38-5
  - シスコの実装 38-2
  - 自動 RP
    - BSR との使用法 38-23
    - 概要 38-5
    - 既存の SM クラウドへの追加 38-15
    - キャッシュのクリア 38-54
    - 候補 RP スプーフィングの禁止 38-17
    - 新規インターネットワークでの設定 38-15
    - 設定時の注意事項 38-10
    - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 38-17
    - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 38-17
    - 利点 38-14
- 設定
  - IP マルチキャスト境界 38-37
  - 基本的なマルチキャスト ルーティング 38-11
  - デフォルト設定 38-9
  - 統計情報、システムおよびネットワークの表示 38-54
  - ブートストラップ ルータ
    - IP マルチキャスト境界の定義 38-20

- PIM ドメイン境界の定義 38-19
  - 概要 38-6
  - 候補 BSR の設定 38-21
  - 候補 RP の設定 38-22
  - 自動 RP による使用法 38-23
  - 設定時の注意事項 38-10
- プロトコルの動作 38-2
- マルチキャスト転送、説明 38-7
- モニタ
  - パケット速度および損失情報 38-55
  - パスのトレース 38-55
  - ピアリング デバイス 38-55
- ルーティング テーブル
  - 削除 38-54
  - 表示 38-55
- IP ユニキャスト ルーティング
  - ARP 34-9
  - BGP も参照
  - EIGRP も参照
  - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 34-4
  - IGP 34-27
  - IGRP も参照
  - IP アドレス
    - クラス 34-6
    - 設定 34-5
  - IRDP 34-12
  - IS-IS も参照
  - MAC アドレスおよび IP アドレス 34-8
  - OSPF も参照
  - RIP も参照
  - SVI を使用 34-4
  - UDP 34-16
  - VLAN 間 34-2
  - アドレス解決 34-8
  - イネーブル化 34-20
  - 管理距離 34-92, 34-102
  - 逆アドレス解決 34-8
  - クラスレス ルーティング 34-7
  - 再配信 34-94
  - サブネット ゼロ 34-6
  - サブネット マスク 34-6
  - 指定ブロードキャスト 34-14
  - スーパーネット 34-7
  - スタティック ルーティング 34-2
  - スタティック ルートの設定 34-92
  - 設定手順 34-4
- ダイナミック ルーティング プロトコル 34-2
  - デフォルト
    - アドレス指定の設定 34-5
    - ゲートウェイ 34-12
    - ネットワーク 34-93
    - ルーティング 34-2
    - ルート 34-93
  - 認証鍵 34-103
  - パッシブ インターフェイス 34-101
  - ブロードキャスト
    - アドレス 34-16
    - ストーム 34-14
    - パケット 34-14
    - フラッディング 34-17
  - プロキシ ARP 34-9
  - プロトコル
    - ダイナミック 34-2
    - ディスタンス ベクタ 34-3
    - リンクステート 34-3
  - ルーテッド ポート 34-4
  - レイヤ 3 インターフェイス 34-4
  - レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 34-6
- IP ルーティング
  - イネーブル化 34-20
  - インターフェイスの接続 10-7
- IP ルート、モニタ 34-104
- IRDP
  - 設定 34-12
  - 定義 34-12
- IS-IS
  - show コマンド 34-77
  - アドレス 34-68
  - エリア ルーティング 34-68
  - システム ルーティング 34-68
  - デフォルト設定 34-69
  - モニタ 34-77
- ISL および トランク ポート 10-4
- ISO CLNS
  - clear コマンド 34-77
  - NET 34-68
  - NSAP 34-68
  - OSI 標準 34-68
  - ダイナミック ルーティング プロトコル 34-68
  - モニタ 34-77

## ISO IGRP

- エリアルーティング 34-68
- システムルーティング 34-68

## J

- Join メッセージ、IGMP 23-3

## K

## Kerberos

- KDC 8-33
- TGT 8-35
- 暗号化ソフトウェア イメージ 8-33
- サーバ 8-35
- 証明書 8-33
- 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-33
- 設定 8-36
- 設定例 8-33
- 説明 8-33
- チケット 8-33
- 動作 8-35
- 認証
  - KDC 8-35
  - 境界スイッチ 8-35
  - ネットワーク サービス 8-36
- 用語 8-34
- レルム 8-34

## L

- l2protocol-tunnel コマンド 16-18
- Label Distribution Protocol
  - LDP を参照
- LACP
  - EtherChannel を参照
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
- LDAP 5-3
- LDP 37-8
- Lightweight Directory Access Protocol
  - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
  - EtherChannel を参照
  - LACP を参照
- Link State Advertisement (LSA) 34-34

## LLQ

- イネーブル化 32-118
- 出力プライオリティ キューとの相互作用 32-119
- 説明 32-36
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-14
- Low-Latency Queueing
  - LLQ を参照
- LSR 37-3

## M

## MAC Address-Table Move Update

- 設定 20-8
- 設定時の注意事項 20-5
- 説明 20-3
- デフォルト設定 20-5
- モニタ 20-10

## MAC アドレス

- ACL 内 31-28
- IP アドレスとの相互作用 34-8
- IP ソース ガード情報の表示 21-20
- VLAN での学習のディセーブル 6-28
- VLAN との対応付け 6-22
- アドレス テーブルの作成 6-21
- エージング タイム 6-23
- 解決 6-30
- スタティック
  - 許可 6-27, 6-28
  - 削除 6-26
  - 追加 6-26
  - 特性 6-25
  - 廃棄 6-27
- ダイナミック
  - 削除 6-23
  - ラーニング 6-21
  - デフォルト設定 6-22
  - 表示 6-29

## MAC アドレス学習、VLAN でのディセーブル 6-28

## MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-32

## MAC 拡張 ACL

- QoS の設定 32-62
- QoS 分類 32-8
- 作成 31-28
- 定義 31-28
- レイヤ 2 インターフェイスへの適用 31-29

- maximum-paths コマンド 34-54, 34-91
- MEP
  - STP 36-4
  - 定義 36-4
- MIB
  - FTP によるファイルへのアクセス A-4
  - SNMP との相互作用 30-4
    - 概要 30-2
    - サポート A-2
    - ファイルの位置 A-4
- MIP
  - STP 36-4
  - 定義 36-4
- MP-BGP 37-14
- MPLS
  - EXP フィールド 37-21
  - QoS
    - EXP ビット 37-22
      - 使用 37-21
      - 設定 37-22
      - デフォルト設定 37-23
  - VPN
    - パケットフロー 37-14
    - ラベル 37-4
    - 設定 37-9
    - デフォルト設定 37-8
    - モニタ 37-26
    - ラベル 37-3
- MSDP
  - DM 領域
    - SA メッセージの送信 39-16
    - 発信元アドレスの指定 39-17
  - MSDP 接続および統計情報のクリア 39-18
  - SA メッセージ
    - TTL によるデータの制限 39-13
    - アダプタイズされる送信元の制限 39-9
    - キャッシュ エントリのクリア 39-18
    - キャッシング 39-6
    - 着信のフィルタリング 39-13
      - 定義 39-2
      - ピアからのフィルタリング 39-10
      - ピアへのフィルタリング 39-12
      - モニタ 39-18
    - 概要 39-2
    - 参加遅延、定義 39-6
  - 送信元情報の制御
    - スイッチから発信 39-8
    - スイッチで受信 39-13
    - スイッチで転送 39-11
  - デフォルト設定 39-4
  - 発信元アドレス、変更 39-17
  - ピア
    - シャットダウン 39-15
    - 送信元情報の要求 39-8
    - デフォルトの設定 39-4
    - ピアリング関係、概要 39-2
      - モニタ 39-18
    - ピア RPF フラッドイング 39-2
  - フィルタリング
    - 着信 SA メッセージ 39-13
    - ピアからの SA 要求メッセージ 39-10
    - ピアへの SA メッセージ 39-12
  - メッシュグループ
    - 設定 39-15
    - 定義 39-15
  - 利点 39-3
- MSTP
  - 802.1D とのインターオペラビリティ
    - 移行プロセスの再起動 18-26
    - 説明 18-9
  - BPDU ガード
    - イネーブル化 19-11
    - 説明 19-3
  - BPDU フィルタリング
    - イネーブル化 19-12
    - 説明 19-3
  - CIST の説明 18-3
  - CIST リージョンルート
  - CIST ルート 18-5
  - CST
    - 定義 18-3
    - リージョン間の動作 18-4
  - EtherChannel ガード
    - イネーブル化 19-15
    - 説明 19-8
  - IEEE 802.1s
    - 実装 18-7
    - ポートの役割名の変更 18-7
  - IST
    - 定義 18-3
    - マスター 18-3

- リージョン内の動作 18-3
- MST リージョン
  - CIST 18-3
  - IST 18-3
  - サポートされるスパンニングツリー インスタンス 18-2
  - 設定 18-17
  - 説明 18-2
  - ホップカウント メカニズム 18-6
- PortFast
  - イネーブル化 19-10
  - 説明 19-2
- PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
- VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-17
- インターフェイス ステート、ブロッキングから  
フォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 概要 18-2
- 拡張システム ID
  - セカンダリ ルート スイッチに対する影響 18-20
  - 予期しない動作 18-19
  - ルート スイッチへの影響 18-18
- 境界ポート
  - 設定時の注意事項 18-16
  - 説明 18-6
- サポートされるインスタンス 17-10
- スタック変更、効果 18-8
- ステータスの表示 18-27
- ステータス、表示 18-27
- 設定
  - hello タイム 18-23
  - MST リージョン 18-17
  - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-25
  - 最大エージング タイム 18-24
  - 最大ホップ カウント 18-25
  - スイッチ プライオリティ 18-22
  - セカンダリ ルート スイッチ 18-20
  - 転送遅延時間 18-24
  - パス コスト 18-21
  - ポート プライオリティ 18-20
  - 隣接タイプ 18-26
  - ルート スイッチ 18-18
- 設定時の注意事項 18-16, 19-10
- デフォルト設定 18-15
- モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
- モードのイネーブル化 18-17
- ルート ガード
  - イネーブル化 19-15
  - 説明 19-8
- ルート スイッチ
  - 拡張システム ID の影響 18-18
  - 設定 18-18
  - 予期しない動作 18-19
- ルート スイッチとしての選択の防止 19-8
- ループ ガード
  - イネーブル化 19-16
  - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
  - MSDP を参照
- Multicast VLAN Registration
  - MVR を参照
- Multiple Spanning-Tree Protocol
  - MSTP を参照
- multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイス
  - multi-VRF CE を参照
- multi-VRF CE
  - サポート 1-9
  - 設定 34-81
  - 設定時の注意事項 34-82
  - 設定例 34-84
  - 定義 34-79
  - デフォルト設定 34-81
  - ネットワーク構成要素 34-81
  - パケット転送プロセス 34-81
  - 表示 34-89
  - モニタ 34-89
- MVR
  - アドレスのエイリアス 23-19
  - インターフェイスの設定 23-21
  - グローバルパラメータの設定 23-20
  - 説明 23-16
  - デフォルト設定 23-19
  - モード 23-20
  - モニタ 23-23

- N**
- NameSpace Mapper
    - NSM を参照
  - Network Time Protocol
    - NTP を参照
  - no switchport コマンド 10-5
  - no コマンド 2-5
  - Not-So-Stubby Area
    - NSSA を参照
  - NSAP、ISO IGRP アドレスとして 34-68
  - NSF 認識
    - BGP 34-50
    - EIGRP 34-41
    - IS-IS 34-70
    - OSPF 34-29
  - NSM 5-3
  - NSSA、OSPF 34-34
  - NTP
    - ACL の時間範囲 31-17
    - アクセスの制限
      - アクセス グループの作成 6-10
      - 特定のインターフェイスでの NTP サービスの  
ディセーブル化 6-11
    - アソシエーション
      - サーバ 6-7
      - 定義 6-3
      - 認証 6-5
      - ピア 6-7
      - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化  
6-8
    - 概要 6-3
    - 時刻
      - サービス 6-3
      - 同期化 6-3
    - ストラタム 6-3
    - 設定の表示 6-12
    - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
    - デバイスの同期化 6-7
    - デフォルト設定 6-5
  - NTP アクセス グループのキーワード、スキャン順序  
6-10
- O**
- OAM マネージャ
    - CFM で 36-10
  - E-LMI 36-10
    - 設定 36-11
    - 設定時の注意事項 36-11
    - 目的 36-10
    - モニタ 36-15
  - Open Shortest Path First
    - OSPF を参照
  - OSPF
    - LSA グループ同期 34-36
    - インターフェイス パラメータ、設定 34-30
    - エリア パラメータ、設定 34-34
    - 仮想リンク 34-35
      - 設定 34-29
      - 説明 34-27
      - デフォルト設定
        - 設定 34-28
        - メトリック 34-35
        - ルート 34-35
    - ネットワーク タイプ、設定 34-33
    - モニタ 34-37
    - ルータ ID 34-37
    - ルート サマライズ 34-35
- P**
- PAgP
    - EtherChannel を参照
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
  - PBR
    - PBR の高速スイッチング 34-100
    - PBR を参照
      - イネーブル化 34-99
      - 定義 34-97
      - ローカル PBR 34-100
  - PE/CE ルーティング、設定 34-84
  - PIM
    - dense (密) モード
      - RPF チェック 38-7
      - 概要 38-5
      - ランデブー ポイント (RP)、説明 38-5
    - sparse (疎) モード
      - Join メッセージおよび共有ツリー 38-5
      - RPF チェック 38-8
      - 概要 38-5
      - プルーニング メッセージ 38-5
    - SPT、使用の延期 38-26

- 概要 38-4
- 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 38-25
- デフォルト設定 38-9
- ネイバの表示 38-55
- バージョン
  - v2 の改善点 38-4
  - インターオペラビリティに関するトラブルシューティング 38-24
  - 相互運用 38-10
- モードのイネーブル化 38-12
- ルータクエリーメッセージインターバル、変更 38-28
- PIM/DVMRP、スヌーピング方式 23-8
- ping
  - 概要 41-11
  - 実行 41-11
  - 文字出力の説明 41-12
- Port Aggregation Protocol
  - EtherChannel を参照
- PortFast
  - イネーブル化 19-10
  - 説明 19-2
  - モード、スパニングツリー 12-33
- Protocol-Independent Multicast Protocol
  - PIM を参照
- PVST+
  - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-10
  - サポートされるインスタンス 17-10
  - 説明 17-9
- Q
- QoS
  - 802.1Q トンネリング 32-96
  - ACL
    - IP 拡張 32-60
    - IP 標準 32-60
    - MAC 32-62
  - DSCP トランスペアレンシ 32-57
  - DSCP マップ 32-76
  - IEEE 802.1Q トンネリング 32-54, 32-96
  - IP Phone
    - 検出および信頼設定 32-37, 32-56
    - 自動的な分類とキューイング 32-37
  - MPLS ネットワーク 37-21
  - QoS ラベル、定義 32-6
  - 暗黙的な拒否 32-11
  - 階層型 QoS
    - 2 つのレートを使用するトラフィック ポリサー 32-30, 32-100
    - CBWFQ 32-35
    - CBWFQ および DSCP ベース WRED 32-110
    - CBWFQ および IP precedence ベース WRED 32-114
    - CBWFQ およびテール ドロップ 32-107
    - LLQ 32-36, 32-118
    - QoS、階層型キューも参照
    - QoS、階層レベルも参照
    - WRED 32-35
      - 一致条件 32-29
      - クラス マップに基づく分類 32-29, 32-98
      - 子ポリシー 32-27
      - シェーピング 32-36, 32-121
      - 設定時の注意事項 32-95
      - テール ドロップ 32-35
      - デフォルト クラス 32-30
      - デフォルト設定 32-95
      - トラフィック ポリシー、説明 32-29
      - 表示 32-123
      - 輻輳回避 32-34
      - 輻輳管理 32-34
      - ポリシング、説明 32-30
      - マーキング 32-30, 32-104
  - 階層型キュー
    - CBWFQ 32-35
    - LLQ 32-36
    - QoS、階層型 QoS も参照
    - WRED 32-35
      - キュー条件 32-29
      - サポートされているキュー数 32-34
      - スケジューリング 32-7
      - 説明 32-7, 32-34
      - 帯域幅制限ストリーム 32-26
      - テール ドロップ 32-35
      - デフォルト キュー 32-34
      - 輻輳制御 32-34
      - 平均キュー サイズの計算 32-35
  - 階層レベル
    - VLAN レベル、説明 32-27
    - クラス レベル、説明 32-26
    - サポートされている VLAN レベル クラス数 32-27

- サポートされているクラスレベル クラス数  
32-26
- 物理インターフェイス レベル、説明 32-28
- 概要 32-3
- 書き換え 32-51
- 基本モデル 32-5
- キュー
  - QoS、階層型キューも参照
  - QoS、出力キューセットも参照
  - QoS、入力キューも参照
  - SRR、説明 32-19
  - WTD、説明 32-19
  - 位置 32-17
  - 出力キューセットの特性の設定 32-86
  - 入力キューの特性の設定 32-82
- クラス マップ
  - 階層型の設定 32-98
  - 入力の設定 32-63
  - 表示 32-94, 32-123
- グローバルなイネーブル化 32-52
- 自動 QoS
  - VoIP 用にイネーブル化 32-42
  - 実行コンフィギュレーションに対する影響  
32-41
  - 初期設定、表示 32-46
  - 生成されたコマンドの表示 32-43
  - 生成されるコマンドのリスト 32-39
  - 設定時の注意事項 32-41
  - 設定とデフォルトの表示 32-46
  - 設定例 32-44
  - 説明 32-37
  - ディセーブル化 32-43
  - デフォルト出力キューセット 32-38
  - デフォルト入力キュー 32-37
  - トラフィックの分類 32-37
- 集約ポリサー、作成 32-75
- 出力インターフェイスの帯域幅の制限 32-93
- 出力キューセット
  - DSCP または CoS 値のマッピング 32-89
  - SRR 共有ウェイトの設定 32-91
  - SRR シェーピング ウェイトの設定 32-90
  - WTD スレッシュホールドの設定 32-87
  - WTD、説明 32-25
  - スケジューリング、説明 32-6
  - スレッシュホールド マップの表示 32-90
  - 説明 32-6
  - 特性 32-86
- バッファ スペースの割り当て 32-87
- バッファ割り当て方式、説明 32-24
- プライオリティ キューイング 32-50, 32-92
- フローチャート 32-23
- 信頼境界、設定 32-56
- 信頼状態
  - 信頼されたデバイス 32-56
  - 説明 32-8
  - ドメイン内 32-52
  - 別のドメインとの境界 32-58
- 設定
  - DSCP トランスペアレンシ 32-57
  - ポリシー マップ、SVI での階層型 32-68
  - ポリシー マップ、デュアルレベル 32-68
- 設定時の注意事項
  - 階層型 QoS 32-95
  - 自動 QoS 32-41
  - 標準 QoS 32-49
- デフォルト設定
  - 階層型 QoS 32-95
  - 自動 QoS 32-37
  - 標準 QoS 32-47
- 統計情報の表示 32-94
- 入力キュー
  - DSCP または CoS 値のマッピング 32-82
  - SRR 共有ウェイトの設定 32-84
  - WTD スレッシュホールドの設定 32-82
  - WTD、説明 32-21
  - スケジューリング、説明 32-6
  - スレッシュホールド マップの表示 32-83
  - 説明 32-6
  - 帯域幅の割り当て 32-84
  - 特性 32-82
  - バッファ スペースの割り当て 32-84
  - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明  
32-21
  - プライオリティ キュー、設定 32-85
  - プライオリティ キュー、説明 32-22
  - フローチャート 32-20
- パケットの変更 32-51
- フローチャート
  - 2 つのレートを使用するポリシングおよびマ  
キング 32-31
  - 階層型キューのキューイングおよびスケジュー  
リング 32-33
  - 出力キューセットのキューイングおよびスケ  
ジューリング 32-23



- 入力キューイングおよびスケジューリング 32-20
- 入力分類 32-10
- 非階層型単一レベルの入力ポリシングおよびマーキング 32-15
- 分類
  - CoS の信頼、説明 32-8
  - DSCP トランスペアレンシ、説明 32-57
  - DSCP の信頼、説明 32-8
  - IP ACL、説明 32-9, 32-10
  - IP precedence の信頼、説明 32-8
  - IP トラフィックのオプション 32-8
  - MAC ACL、説明 32-8, 32-10
  - 階層型、定義 32-6
  - クラス マップ、説明 32-11, 32-29
  - 転送処理 32-4
  - 入力、定義 32-6
  - 非 IP トラフィックのオプション 32-8
  - フレームおよびパケット 32-4
  - フローチャート、入力 32-10
- ポリサー
  - 階層型、2 つのレート 32-30
  - サポート数 32-50, 32-96
  - 集約ポリサーの設定の表示 32-94
  - 設定 32-67, 32-72, 32-75
  - タイプ 32-13
  - 入力のタイプ 32-13
  - 入力、単一レート 32-14
- ポリシー マップ
  - SVI での階層 32-12, 32-15
  - 設定 32-65
  - 説明 32-11, 32-29
  - デュアルレベル 32-12, 32-15
  - 入力の特性 32-65
  - 非階層型単一レベル 32-12
  - 表示 32-94, 32-123
- ポリシー、インターフェイスへの付加 32-14, 32-32
- ポリシング
  - 階層型、説明 32-30
  - 説明 32-6
  - トークン バケット アルゴリズム 32-14
  - 入力、説明 32-12
- マーキング
  - 説明、階層型 32-7, 32-30
  - 説明、入力 32-6, 32-14
- マークダウン アクション 32-67, 32-72, 32-101, 32-105
- マッピング テーブル
  - CoS/DSCP 32-77
  - DSCP/CoS 32-79
  - DSCP/DSCP 変換 32-81
  - IP precedence/DSCP 32-78
  - タイプ 32-17
  - 表示 32-94
  - ポリシング設定 DSCP 32-79
- QoS 機能 1-7
- QoS の CoS 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-25
- QoS の CoS 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-21
- QoS の CoS/DSCP マップ 32-77
- QoS の DSCP 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-25
- QoS の DSCP 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-21
- QoS の DSCP/CoS マップ 32-79
- QoS の DSCP/DSCP 変換マップ 32-81
- QoS の IP precedence/DSCP マップ 32-78
- QoS の信頼境界 32-56
- QoS の輻輳管理 32-34
- QoS のプライオリティ キュー
  - ES ポートでの LLQ 32-118
  - 入力 32-85
  - 標準ポートの出力 32-25
- QoS のポリシー マップ
  - SVI での階層
    - 設定 32-68
    - 説明 32-15
  - 説明 32-11, 32-29
  - デュアルレベル
    - 設定 32-68
    - 説明 32-15
  - 入力の特性 32-65
  - 非階層型単一レベル
    - 設定 32-65
    - 説明 32-13
  - 表示 32-94, 32-123
- QoS のポリシング設定 DSCP マップ 32-79
- QoS のマッピング テーブル
  - 設定
    - CoS/DSCP 32-77
    - DSCP 32-76

- DSCP/CoS 32-79
- DSCP/DSCP 変換 32-81
- IP precedence/DSCP 32-78
- ポリシング設定 DSCP 32-79
- 説明 32-17
  
- R**
  
- RADIUS**
- AAA サーバ グループの定義 8-26
- アトリビュート
  - ベンダー固有 8-30, 8-32
- 概要 8-19
- サーバホストの識別 8-21
- 設定
  - アカウントिंग 8-29
  - 許可 8-28
  - 通信、グローバル 8-22, 8-30
  - 通信、サーバ単位 8-21, 8-22
  - 認証 8-24
  - 複数の UDP ポート 8-22
- 設定の表示 8-32
- デフォルト設定 8-21
- 動作 8-20
- ネットワーク環境 8-19
- 方式リスト、定義 8-21
- ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-29
- ユーザへのサービスの制限 8-28
- Rapid per-VLAN Spanning-Tree Plus
  - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
  - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-10
  - サポートされるインスタンス 17-10
  - 説明 17-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
  - RSTP を参照
- RARP 34-9
- rcommand コマンド 4-4
- RCP
  - イメージファイル
    - アップロード B-34
    - サーバの準備 B-31
    - ダウンロード B-32
    - 古いイメージの削除 B-34
  - コンフィギュレーションファイル
    - アップロード B-19
    - 概要 B-16
    - サーバの準備 B-17
    - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
  - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
  - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
  - RMON を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
  - RARP を参照
- RFC
  - 1058、RIP 34-21
  - 1157、SNMPv1 30-2
  - 1166、IP アドレス 34-6
  - 1253、OSPF 34-27
  - 1305、NTP 6-3
  - 1587、NSSA 34-27
  - 1757、RMON 28-2
  - 1163、BGP 34-46
  - 1267、BGP 34-46
  - 1771、BGP 34-46
  - 1901、SNMPv2C 30-2
  - 1902 ~ 1907、SNMPv2 30-2
  - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
  - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
  - 2273 ~ 2275、SNMPv3 30-2
- RIP
  - アドバタイズ 34-21
  - サマリーアドレス 34-24
  - スプリット ホライズン 34-24
  - 設定 34-22
  - 説明 34-21
  - デフォルト設定 34-21
  - 認証 34-24
  - ホップ カウント 34-21
- RMON
  - アラームおよびイベントのイネーブル化 28-3
  - 概要 28-2
  - サポートされているグループ 28-2
  - ステータスの表示 28-6
  - デフォルト設定 28-3
  - 統計情報
    - グループ イーサネット、収集 28-5

グループ履歴、収集 28-4

route-map コマンド 34-99

Routing Information Protocol

RIP を参照

RSPAN

VLAN ベース 27-7

宛先ポート 27-8

概要 27-2

受信トラフィック 27-5

ステータスの表示 27-26

セッション

作成 27-19

送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-25

定義 27-4

入力トラフィックがイネーブル 27-23

モニタ対象ポートの指定 27-19

セッション限度 27-11

設定時の注意事項 27-19

送信されたトラフィック 27-6

送信元ポート 27-6

デフォルト設定 27-11

特性 27-8

他の機能との相互作用 27-9

モニタ側ポート 27-8

モニタ対象ポート 27-6

RSTP

802.1D とのインターオペラビリティ

TC 18-14

移行プロセスの再起動 18-26

説明 18-9

BPDU

処理 18-14

フォーマット 18-13

MSTP も参照

RP の定義 18-10

アクティブ トポロジーの決定 18-10

概要 18-10

高速コンバージェンス

RP 18-11

エッジポートおよび PortFast 18-11

説明 18-11

ポイントツーポイントリンク 18-11, 18-25

指定スイッチの定義 18-10

指定ポートの定義 18-10

提案合意ハンドシェイク プロセス 18-11

ポートの役割

説明 18-10

同期化 18-12

## S

## SDM

説明 7-1

テンプレート

個数 7-2

設定 7-3

設定時の注意事項 7-3

## Secure Shell

SSH を参照

## Secure Socket Layer

SSL を参照

set-request 動作 30-5

## SFP

インターフェイス番号 10-8

ステータスのモニタ 1-10, 10-24, 41-10

ステータス、表示 1-10

セキュリティと識別 41-10

## Shaped Round Robin

SRR を参照

show access-lists hw-summary コマンド 31-22

show cdp traffic コマンド 25-5

show cluster members コマンド 4-4

show configuration コマンド 10-19

show forward コマンド 41-19

show interfaces コマンド 10-16, 10-19

show l2protocol コマンド 16-19, 16-22

show platform forward コマンド 41-19

show running-config コマンド

ACL の表示 31-21, 31-42

インターフェイスに関する記述の追加 10-19

show および more コマンドの出力、フィルタリング 2-10

## Smartport マクロ

Web サイト 11-2

グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7

作成 11-4

シスコのデフォルトマクロの適用 11-7

設定時の注意事項 11-3

定義 11-2

デフォルト設定 11-3

トレーシング 11-3

- パラメータ値の適用 11-5, 11-7
- 表示 11-8
- マクロの適用 11-5
- SNMP トラップ、および CFM 36-5
- SNAP 25-1
- SNMP
  - MIB
    - 位置 A-4
    - サポート A-1
  - MIB 変数へのアクセス 30-4
  - Syslog メッセージの制限 29-10
  - TFTP サーバのアクセス制限 30-15
  - インフォーム
    - trap キーワード 30-11
    - イネーブル化 30-14
    - 説明 30-5
    - トラップとの違い 30-5
  - エージェント
    - 説明 30-4
    - ディセーブル化 30-7
  - エンジン ID 30-7
  - 概要 30-2, 30-4
  - クラスタの管理 4-5
  - グループ 30-6, 30-9
  - コミュニティストリング
    - 概要 30-4
    - 設定 30-7
  - サポートされるバージョン 30-2
  - システム コンタクトおよびロケーション 30-14
  - ステータス、表示 30-17
  - 設定時の注意事項 30-6
  - 設定例 30-16
  - 通知 30-5
  - デフォルト設定 30-6
  - トラップ
    - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-24
    - イネーブル化 30-11
    - インフォームとの違い 30-5
    - 概要 30-2, 30-5
    - 説明 30-4, 30-5
    - タイプ 30-11
  - トラップ マネージャ、設定 30-13
  - 認証レベル 30-10
  - ホスト 30-6
  - マネージャ機能 30-3
  - ユーザ 30-6, 30-9
- SNMPv1 30-3
- SNMPv2C 30-3
- SNMPv3 30-3
- SPAN
  - VLAN ベース 27-7
  - 宛先ポート 27-8
  - 概要 27-2
  - 受信トラフィック 27-5
  - ステータスの表示 27-26
  - セッション
    - 宛先 (モニタ側) ポートの削除 27-14
    - 作成 27-12
    - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-17
    - 定義 27-4
    - 入力転送の設定 27-16, 27-24
    - 入力トラフィックがイネーブル 27-15
    - モニタ対象ポートの指定 27-12
  - セッション限度 27-11
  - 設定時の注意事項 27-11
  - 送信されたトラフィック 27-6
  - 送信元ポート 27-6
  - デフォルト設定 27-11
  - 他の機能との相互作用 27-9
  - モニタ側ポート 27-8
  - モニタ対象ポート 27-6
- SPAN トラフィック 27-5
- SRR
  - 共有モード 32-20
  - シェーピング モード 32-20
  - 設定
    - 出力キューセットの共有ウェイト 32-91
    - 出力キューセットのシェーピング ウェイト 32-90
    - 入力キューの共有ウェイト 32-84
  - 説明 32-19
  - プライオリティ キューイングの相互作用 32-50
- SSH
  - 暗号化アルゴリズム 8-39
  - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-39
  - 設定 8-40
  - 説明 8-39
  - ユーザ認証方式、サポート対象 8-39
- SSL
  - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-43
  - セキュア HTTP クライアントの設定 8-48
  - セキュア HTTP サーバの設定 8-46

- 設定時の注意事項 8-45
- 説明 8-43
- モニタ 8-49
- standby ip コマンド 35-5
- storm-control コマンド (ブロードキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (マルチキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (ユニキャスト) 24-5
- STP
  - BackboneFast
    - イネーブル化 19-14
    - 説明 19-6
  - BPDU ガード
    - イネーブル化 19-11
    - 説明 19-3
  - BPDU フィルタリング
    - イネーブル化 19-12
    - 説明 19-3
  - BPDU メッセージ交換 17-3
  - EtherChannel ガード
    - イネーブル化 19-15
    - 説明 19-8
    - ディセーブル化 19-15
  - IEEE 802.1D とブリッジ ID 17-4
  - IEEE 802.1D とマルチキャストアドレス 17-8
  - IEEE 802.1Q トランクでの制約 17-10
  - IEEE 802.1t および VLAN ID 17-4
  - PortFast
    - イネーブル化 19-10
    - 説明 19-2
  - PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
  - RP の定義 17-4
  - UplinkFast
    - イネーブル化 19-13
    - 説明 19-4
  - VLAN ブリッジ 17-11
  - インターフェイス ステート
    - 概要 17-5
    - ディセーブル 17-7
    - フォワーディング 17-6, 17-7
    - ブロッキング 17-6
    - ラーニング 17-6
    - リスニング 17-6
  - インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
  - オプション機能のデフォルト設定 19-10
  - 下位 BPDU 17-4
  - 概要 17-2
  - カウンタ、クリア 17-23
  - 拡張システム ID
    - 概要 17-4
    - セカンダリ ルート スイッチの影響 17-17
    - 予期しない動作 17-16
    - ルート スイッチへの影響 17-15
  - 間接リンク障害の検出 19-6
  - キープアライブ メッセージ 17-3
  - サポートされるインスタンス 17-10
  - サポートされるプロトコル 17-9
  - サポートされるモード 17-9
  - 指定スイッチの定義 17-4
  - 指定ポートの定義 17-4
  - 冗長接続 17-8
  - ステータスの表示 17-23
  - ステータス、表示 17-23
  - 設定
    - hello タイム 17-21
    - 最大エージング タイム 17-22
    - スイッチ プライオリティ 17-20
    - スパニングツリー モード 17-14
    - セカンダリ ルート スイッチ 17-17
    - 転送遅延時間 17-21
    - パス コスト 17-18
    - ポート プライオリティ 17-17
    - ルート スイッチ 17-15
  - 設定時の注意事項 17-13, 19-10
  - タイマー、説明 17-20
  - ディセーブル化 17-15
  - デフォルト設定 17-12
  - パス コスト 12-30, 12-31
  - ポート プライオリティ 12-29
  - マルチキャスト アドレス、影響 17-8
  - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
  - 優位 BPDU 17-3
  - ルート ガード
    - イネーブル化 19-15
    - 説明 19-8
  - ルート スイッチ
    - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-15
    - 設定 17-15
    - 選択 17-4
    - 予期しない動作 17-16
  - ルート スイッチとしての選択の防止 19-8

- ルータ ポート選択の時間短縮 19-4
  - ループガード
    - イネーブル化 19-16
    - 説明 19-9
  - レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-13
  - ロードシェアリング
    - 概要 12-28
    - パス コストの使用 12-30
    - ポート プライオリティ 12-28
  - SunNet Manager 1-3
  - SVI
    - IP ユニキャスト ルーティング 34-4
    - VLAN 間のルーティング 12-3
    - VLAN の接続 10-7
    - 定義 10-5
    - ルータ ACL 31-3
  - SVI での階層型ポリシー マップ 32-12
    - 設定 32-68
    - 説明 32-15
  - Switch Database Management
    - SDM を参照
  - Switched Port Analyzer
    - SPAN を参照
  - switchport block multicast コマンド 24-8
  - switchport block unicast コマンド 24-8
  - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
  - switchport protected コマンド 24-7
  - switchport コマンド 10-13
  - Syslog
    - システム メッセージ ログイングを参照
- T**
- TACACS+
    - アカウントティング、定義 8-12
    - 概要 8-11
    - 許可、定義 8-12
    - サーバ ホストの識別 8-14
    - 設定
      - アカウントティング 8-18
      - 許可 8-17
      - 認証鍵 8-14
      - ログイン認証 8-15
    - 設定の表示 8-18
    - デフォルト設定 8-14
    - 動作 8-13
  - 認証、定義 8-12
  - ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-18
  - ユーザへのサービスの制限 8-17
  - Tag Distribution Protocol
    - TDP を参照
  - tar ファイル
    - イメージ ファイル形式 B-22
    - 作成 B-6
    - 抽出 B-7
    - 内容の表示 B-7
  - TDP 37-8
  - Telnet
    - 管理インターフェイスへのアクセス 2-11
    - 接続数 1-4
    - パスワードの設定 8-7
  - Terminal Access Controller Access Control System Plus
    - TACACS+ を参照
  - TFTP
    - イメージ ファイル
      - アップロード B-25
      - サーバの準備 B-23
      - 削除 B-25
      - ダウンロード B-24
    - コンフィギュレーション ファイル
      - アップロード B-12
      - サーバの準備 B-11
      - ダウンロード B-12
    - サーバのアクセス制限 30-15
    - 自動設定 3-6
    - ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-6
  - time-range コマンド 31-17
  - traceroute コマンド 41-15
    - IP traceroute も参照
  - traceroute、レイヤ2
    - ARP 41-14
    - CDP 41-13
    - IP アドレスおよびサブネット 41-14
    - MAC アドレスおよび VLAN 41-13
    - 使用上の注意事項 41-13
    - 説明 41-13
    - ポートに複数のデバイス 41-14
    - マルチキャスト トラフィック 41-13
    - ユニキャスト トラフィック 41-13
  - Type of Service 1-7

## U

## UDLD

- アグレッシブモード、説明 26-2
- イネーブル化
  - インターフェイス単位 26-7
  - グローバル 26-6
- インターフェイスのリセット 26-7
- エコーを使用する検出メカニズム 26-3
- 概要 26-2
- 近接データベース 26-3
- 自動ネゴシエーション 26-2
- ステータス、表示 26-8
- 設定時の注意事項 26-5
- 単一方向リンク、定義 26-2
- デフォルト設定 26-5
- 動作モード 26-2
- 標準モード、説明 26-2
- リンク検出メカニズム 26-2
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16

UDLD によりディセーブル化されたインターフェイス  
のリセット 26-7

UDP、設定 34-16

## UNI

リモート (CFM) 36-10

## UNIX Syslog サーバ

- サポートされているファシリティ 29-12
- デーモン設定 29-11
- メッセージロギングの設定 29-12

## UplinkFast

- イネーブル化 19-13
- 説明 19-4

## User Datagram Protocol

UDP を参照

## V

VC 37-15

## Virtual Connection

VC を参照

## Virtual Private Network

VPN を参照

## VLAN

- 1006 ~ 4094 の ID の設定 12-14
- config-vlan モードでの作成 12-10
- STP および IEEE 802.1Q トランク 17-10

SVI による接続 10-7

VLAN コンフィギュレーション モードでの作成  
12-11

VLAN データベースへの追加 12-10

VLAN ブリッジ STP 17-11, 40-2

VTP モード 13-3

拡張範囲 12-1, 12-14

機能 1-5

サービス プロバイダー ネットワーク 上でのカスタ  
マーの番号管理 16-3

削除 12-12

作成 12-10

サポート 12-3

サポート数 1-5

図 12-2

スタティック アクセス ポート 12-13

スパンニングツリー インスタンス 12-3, 12-8,  
12-15

設定 12-1

設定時の注意事項

拡張範囲 VLAN 12-14

標準範囲 VLAN 12-7

設定モードのオプション 12-8

説明 10-2, 12-2

送信元トラフィックの制限

RSPAN を使用 27-25

SPAN を使用 27-17

ダイナミック アドレスの有効期間 17-9

デフォルト設定 12-9

トークンリング 12-7

トラフィック 12-3

トランク上での許可 12-25

内部 12-15

ネイティブ、設定 12-27

パラメータ 12-6

表示 12-18

標準範囲 12-1, 12-6

変更 12-10

ポート メンバーシップ モード 12-3

VLAN 1 最小化 12-25

VLAN 1、トランク ポート上でのディセーブル化  
12-25

## VLAN ACL

VLAN マップを参照

vlan database コマンド 12-8

## VLAN ID

解決 6-30

- カスタマー側 16-9
  - サービスプロバイダー 16-10
  - マッピング 16-9
- VLAN ID の変換
  - VLAN マッピングを参照
- VLAN ID、サポート数 1-5
- VLAN Management Policy Server
  - VMPS を参照
- VLAN Query Protocol
  - VQP を参照
- VLAN Trunk Protocol
  - VTP を参照
- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 34-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション
  - 起動時 12-9
  - 保存 12-9
- VLAN 設定モード 2-3, 12-8
- VLAN 単位スパンニングツリー
  - PVST+ を参照
- VLAN データベース
  - VLAN 設定の保存 12-9
  - VTP 13-1
  - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
  - 保存された VLAN ID 12-6
- VLAN トランク 12-19
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 27-7
- VLAN マッピング
  - 802.1Q トラフィック 16-11
  - 設定 16-10
  - 説明 16-9
- VLAN マップ
  - ACL の表示 31-42
  - アクセスを拒否する例 31-37
  - 一般的な使用法 31-35
  - 作成 31-32
  - 設定 31-31
  - 設定時の注意事項 31-32
  - 設定例 31-36, 31-37
  - 定義 31-3
  - 適用 31-35
  - パケットの拒否および許可 31-33
  - 表示 31-42
- VLAN マップ エントリ、順序 31-32
- VLAN メンバーシップ
  - 確認 12-35
  - モード 12-4
- vlan.dat ファイル 12-6
- vlan-assignment 応答、VMPS 12-32
- VMPS
  - VLAN への MAC アドレスのマッピング 12-32
  - 管理 12-36
  - サーバアドレスの入力 12-34
  - 再確認インターバル、変更 12-36
  - 再試行回数、変更 12-36
  - 設定時の注意事項 12-33
  - 設定例 12-37
  - 説明 12-32
  - ダイナミック ポート メンバーシップ
    - 再確認 12-36
    - 説明 12-33
    - トラブルシューティング 12-37
  - デフォルト設定 12-33
  - メンバーシップの確認 12-35
  - モニタ 12-36
- Voice-over-IP 15-2
- VPN
  - IPv4 プレフィクス 37-7
  - MPLS 37-8
  - multi-VRF CE 34-83
  - サービスプロバイダー ネットワーク 34-79
  - サポート数 37-8
  - 設定 37-10
  - 説明 37-4
  - 転送 34-81
  - 利点 37-5
  - ルーティングセッションの設定 34-83
  - ルート 34-80, 37-4, 37-7
- VPN Routing/Forwarding テーブル
  - VRF を参照
- VPN サービス
  - レイヤ 2 1-6
  - レイヤ 3 1-6
- VQP 12-32
- VRF
  - MPLS-VPN 内 37-4
  - 設定 37-10
  - 定義 34-81
  - テーブル 34-79



- 要素 37-4
- VTP
  - アドバタイズ 12-22, 13-4
  - 拡張範囲 VLAN 13-2
  - クライアント モード、設定 13-12
  - コンフィギュレーション リビジョン番号
    - 注意事項 13-16
    - リセット 13-17
  - サーバ モード、設定 13-11
  - 使用方法 13-2
  - 整合性検査 13-5
  - 設定
    - VLAN 設定モード 13-9
    - イネーブル EXEC モード 13-8
    - クライアント モード 13-12
    - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
    - サーバ モード 13-11
    - 注意事項 13-9
    - トランスペアレント モード 13-13
    - 保存 13-9
    - 要件 13-10
  - 設定の要件 13-10
  - 設定モード オプション 13-8
  - 説明 13-2
  - ディセーブル化 13-13
  - デフォルト設定 13-8
  - 統計情報 13-17
  - トークンリングのサポート 13-5
  - ドメイン 13-2
  - ドメインへのクライアントの追加 13-16
  - ドメイン名 13-9
  - トランスペアレント モード、設定 13-13
  - バージョン 1 13-5
  - バージョン 2
    - イネーブル化 13-14
    - 概要 13-5
    - 設定時の注意事項 13-10
    - ディセーブル化 13-15
  - バージョン、注意事項 13-10
  - パスワード 13-10
  - 標準範囲 VLAN 13-2
  - プルーニング
    - イネーブル化 13-15
    - 概要 13-5
    - 設定例 13-6
    - ディセーブル化 13-16
  - プルーニング適格リスト、変更 12-26
  - モード
    - 移行 13-3
    - クライアント 13-3, 13-12
    - サーバ 13-3, 13-11
    - トランスペアレント 13-4, 13-13
  - モニタ 13-17
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
  - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- W
  - Weighted Tail Drop
    - WTD を参照
  - WRED
    - DSCP ベース WRED の設定 32-110
    - IP precedence ベース WRED の設定 32-114
    - 説明 32-35
  - WTD
    - スレッシュホールドの設定
      - 出力キューセット 32-87
      - 入力キュー 32-82
    - 説明 32-19
- X
  - XMODEM プロトコル 41-2
- あ
  - アカウンティング
    - IEEE 802.1x 9-5, 9-24
    - RADIUS による 8-29
    - TACACS+ による 8-12, 8-18
  - アクセス グループ
    - IP 31-21
    - インターフェイスへの ACL の適用 31-21
    - レイヤ 2 31-21
    - レイヤ 3 31-21
  - アクセス ポート
    - 定義 10-3
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
  - アクセス リスト
    - ACL を参照

- アクセス拒否の応答、VMPS 12-32
- アクセス制御エントリ
  - ACE を参照
- アクセスの制限
  - NTP サービス 6-9
  - RADIUS 8-19
  - TACACS+ 8-11
  - 概要 8-2
  - パスワードおよび権限レベル 8-3
- アクティブリンク 20-2
- アクティブルータ 35-2
- アップロード
  - イメージファイル
    - FTP の使用 B-29
    - RCP の使用 B-34
    - TFTP の使用 B-25
    - 準備 B-23, B-26, B-31
    - 目的 B-21
  - コンフィギュレーションファイル
    - FTP の使用 B-15
    - RCP の使用 B-19
    - TFTP の使用 B-12
    - 準備 B-11, B-14, B-17
    - 目的 B-9
- 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
- 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 宛先のアドレス、ACL 31-12
- アドバタイズ
  - CDP 25-1
  - RIP 34-21
  - VTP 12-22, 13-3, 13-4
- アトリビュート、RADIUS
  - ベンダー固有 8-30, 8-32
- アドレス
  - MAC アドレス テーブルの表示 6-29
  - MAC、検出 6-30
  - スタティック
    - 追加および削除 6-25
    - 定義 6-21
  - ダイナミック
    - エージング タイムの設定 6-23
    - 削除 6-23
    - 定義 6-21
    - デフォルトの有効期間 17-9
    - 有効期間の短縮 17-9
    - ラーニング 6-21
  - マルチキャスト
    - STP アドレス管理 17-8
    - グループアドレスの範囲 38-3
  - アドレス解決 6-30, 34-8
  - アドレスのエイリアス 23-2
  - アベイラビリティ機能 1-4
  - アラーム、RMON 28-3
  - 暗号化ソフトウェア イメージ
    - Kerberos 8-33
    - SSH 8-39
    - SSL 8-43
  - 暗号化、CipherSuite 8-45
  - 安全なリモート接続 8-39
- い
  - イーサネット OAM マネージャ 36-1
  - イーサネット VLAN
    - 作成 12-10
    - デフォルト値および範囲 12-9
    - 変更 12-10
  - イーサネット インフラストラクチャ 36-1
  - イーサネットの操作、管理、およびメンテナンス
    - イーサネット OAM を参照
  - 一時自己署名証明書 8-44
  - イネーブル EXEC モード 2-2
  - イネーブル シークレット パスワード 8-4
  - イネーブル パスワード 8-4
  - イベント、RMON 28-3
  - インターフェイス
    - カウンタ、クリア 10-25
    - 管理 1-3
    - 記述名、追加 10-19
    - 記述、追加 10-19
    - 再起動 10-25
    - サポート 10-8
    - シャットダウン 10-25
    - 情報の表示 10-24
    - 設定 10-8
    - 設定時の注意事項 10-14
    - 説明 10-19
    - 速度の設定 10-14
    - タイプ 10-2
    - デュプレックス モードの設定 10-14
    - 範囲 10-9
    - 番号 10-8

- 物理的、識別 10-8
  - フロー制御 10-16
  - モニタ 10-24
  - レンジマクロ 10-11
  - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
  - インターフェイス タイプ 10-8
  - インターフェイスの shutdown コマンド 10-25
  - インターフェイスのクリア 10-25
- え**
- エージング タイム
    - MAC アドレス テーブル 6-23
    - 最大
      - MSTP 用 18-24, 18-25
      - STP 用 17-22
    - 短縮
      - MSTP 用 18-24
      - STP 用 17-9, 17-21
  - エリア ルーティング
    - IS-IS 34-68
    - ISO IGRP 34-68
- お**
- オプション、管理 1-3
  - 重み付きランダム早期検出
    - WRED を参照
  - 音声 VLAN
    - Cisco 7960 Phone、ポート接続 15-2
    - IP Phone への接続 15-5
    - 音声トラフィックに対するポートの設定
      - 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 15-6
      - 802.1Q フレーム 15-5
    - 設定時の注意事項 15-4
    - 説明 15-2
    - データ トラフィック用の IP Phone の設定
      - 着信フレームの CoS の無効化 15-7
      - 着信フレームの CoS プライオリティの信頼 15-7
    - デフォルト設定 15-4
    - 表示 15-7
- か**
- 階層型 QoS
    - QoS を参照
  - 回復手順 41-1
  - 外部ネイバ、BGP 34-50
  - カウンタ、インターフェイスのクリア 10-25
  - 鍵発行局
    - Kerberos、KDC を参照
  - 拡張システム ID
    - MSTP 18-18
    - STP 17-4, 17-15
  - 拡張範囲 VLAN
    - 作成 12-14, 12-15
    - 設定 12-14
    - 設定時の注意事項 12-14
    - 定義 12-1
  - 隔離 VLAN 14-2, 14-3
  - 隔離ポート 14-3
  - カスタマー エッジ デバイス
    - multi-VRF CE 34-79
    - VPN 37-4, 37-7
  - カスタマー エッジ デバイス 上での複数の VPN のルーティング / フォワーディング
    - multi-VRF CE を参照
  - 仮想プライベート LAN サービス
    - VPLS を参照
  - 仮想ルータ 35-2, 35-3
  - 簡易ネットワーク管理プロトコル
    - SNMP を参照
  - 環境変数、機能 3-15
  - 間接リンク障害の検出、STP 19-6
  - 管理オプション
    - CLI 2-1
    - CNS 1-3, 5-2
    - SNMP 30-2
  - 管理機能 1-3
  - 管理距離
    - OSPF 34-35
    - 定義 34-102
    - ルーティング プロトコルのデフォルト 34-92
  - 関連資料 xli
- き**
- キープアライブ メッセージ 17-3

- 起動
    - 起動プロセス 3-2
    - 手動 3-13
    - 特定のイメージ 3-14
    - ブートローダ、機能 3-2
  - 機能
    - QoS 1-7
    - VLAN 1-5
    - アベイラビリティ 1-4
    - 管理オプション 1-3
    - 管理性 1-3
    - セキュリティ 1-6
    - パフォーマンス 1-2
    - モニタ 1-10
    - レイヤ3 1-9
    - レイヤ2 VPN サービス 1-6
    - レイヤ3 VPN サービス 1-6
  - 逆アドレス解決 34-8
  - 許可
    - RADIUS による 8-28
    - TACACS+ による 8-12, 8-17
  - 許可 VLAN リスト 12-25
  - 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 34-39
- く
- クエリー、IGMP 23-4
  - クライアントモード、VTP 13-3
  - クラスマップ、QoS
    - 設定
      - 階層型 32-98
      - 入力 32-63
    - 説明 32-11, 32-29
    - 表示 32-94, 32-123
  - クラスタ、スイッチ
    - 管理
      - CLI 4-4
      - SNMP 4-5
    - シスコ Network Assistant の「はじめに」も参照
    - 説明 4-1
    - プランニングの考慮事項
      - CLI 4-4
      - SNMP 4-5
  - クラスベース均等化キューイング
    - CBWFQ を参照
  - クラスレスルーティング 34-7
  - グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
  - クロスチェック、CFM 36-4, 36-8
  - クロック
    - システムクロックを参照
- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 26-2
  - ゲスト VLAN と 802.1x 9-9
  - 権限レベル
    - 回線のデフォルトの変更 8-10
    - 概要 8-3, 8-8
    - コマンドスイッチ 4-4
    - コマンドの設定 8-9
    - 終了 8-10
    - メンバー スイッチへのアクセス 4-4
    - ログイン 8-10
- こ
- 高速コンバージェンス 18-11
  - 候補スイッチ
    - コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ
      - 定義 4-3
      - 要件 4-3
  - 固定セキュア MAC アドレスの学習 24-10
  - コネクションレス サービス、VPN 37-5
  - コマンド
    - no および default 2-5
    - 権限レベルの設定 8-9
    - 省略 2-4
  - コマンドスイッチ
    - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
    - 定義 4-2
    - パスワード権限レベル 4-4
    - 要件 4-2
  - コマンドモード 2-2
  - コマンド入力時のエラー メッセージ 2-5
  - コマンドの省略形 2-4
  - コマンドライン インターフェイス
    - CLI を参照
  - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3

- コミュニティ ストリング
  - 概要 30-4
  - 設定 30-7
- コミュニティ ポート 14-3
- コミュニティ リスト、BGP 34-60
- 混合ポート
  - 設定 14-13
  - 定義 14-3
- コンソール ポート、接続 2-11
- コンフィギュレーション ファイル
  - DHCP による取得 3-8
  - TFTP サーバ アクセス制限 30-15
  - アップロード
    - FTP の使用 B-15
    - RCP の使用 B-19
    - TFTP の使用 B-12
    - 準備 B-11, B-14, B-17
    - 目的 B-9
  - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
  - コピー時の無効な組み合わせ B-5
  - 作成および使用に関する注意事項 B-9
  - システム コンタクトおよびロケーション情報 30-14
  - スタートアップ コンフィギュレーションのクリア B-20
  - 説明 B-9
  - タイプおよび場所 B-10
  - ダウンロード
    - FTP の使用 B-14
    - RCP の使用 B-18
    - TFTP の使用 B-12
    - 自動 3-12
    - 準備 B-11, B-14, B-17
    - 目的 B-9
  - テキスト エディタによる作成 B-10
  - デフォルト名 3-12
  - パスワード回復ディセーブル化に関する考慮事項 8-6
  - ファイル名の指定 3-12
- コンフィギュレーション設定、保存 3-11
  
- さ
- サーバ モード、VTP 13-3
- サービス クラス
  - CoS を参照
- サービス プロバイダー ネットワーク
  - 802.1Q トンネリング 16-2
  - EoMPLS 37-15
  - EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
  - MPLS 37-3
  - MPLS VPN の設定 37-8
  - MSTP および RSTP 18-1
  - VPN 37-4, 37-5
  - カスタマー VLAN 16-3
  - レイヤ 2 プロトコル 16-13
- サービス品質
  - QoS を参照
- 再確認インターバル、VMPS、変更 12-36
- 再試行回数、VMPS、変更 12-36
- 最大エージング タイム
  - MSTP 18-24
  - STP 17-22
- 最大ホップ カウント、MSTP 18-25
- サブドメイン、プライベート VLAN 14-2
- サブネット ゼロ 34-6
- サブネット マスク 34-6
  
- し
- シェーピング、平均レート
  - 設定 32-121
  - 説明 32-36
- 時刻
  - NTP およびシステム クロックを参照
- システム MTU
  - EoMPLS 37-17
  - IEEE 802.1Q トンネリング 16-6
  - IS-IS LSP 34-73
  - サポートされる最大のサイズ 10-22
  - 設定 10-22
- システム クロック
  - NTP も参照
  - 概要 6-2
  - 設定
    - 手動 6-12
    - タイム ゾーン 6-13
    - 夏時間 6-14
    - 日時の表示 6-13
- システム プロンプト
  - デフォルト設定 6-16

- システム メッセージ ロギング
    - level キーワード、説明 29-9
    - UNIX Syslog サーバ
      - サポートされているファシリティ 29-12
      - デーモンの設定 29-11
      - ロギング ファシリティの設定 29-12
    - イネーブル化 29-5
    - エラー メッセージの重大度の定義 29-9
    - 概要 29-2
    - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
    - 出力先デバイスの設定 29-5
    - 設定の表示 29-13
    - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
    - ディセーブル化 29-4
    - デフォルト設定 29-4
    - ファシリティ キーワード、説明 29-12
    - メッセージ形式 29-3
    - メッセージの制限 29-10
    - ログ メッセージの同期化 29-6
  - システム リソースの最適化 7-2
  - システム ルーティング
    - IS-IS 34-68
    - ISO IGRP 34-68
  - システム名
    - DNS も参照
    - 手動設定 6-16
    - デフォルト設定 6-16
  - 持続自己署名証明書 8-44
  - 実行コンフィギュレーション、保存 3-11
  - 自動 QoS
    - QoS を参照
  - 自動 RP、検出 38-5
  - 自動設定 3-4
  - 自動ネゴシエーション
    - インターフェイス設定時の注意事項 10-14
    - 不一致 41-9
  - 重大度、システム メッセージの定義 29-9
  - 集約アドレス、BGP 34-63
  - 集約ポート
    - EtherChannel を参照
  - 集約ポリサー 32-75
  - 照合、ACL 31-7
  - 冗長性
    - EtherChannel 33-3
    - HSRP 35-2
  - STP
    - パス コスト 12-30
    - バックボーン 17-8
    - ポート プライオリティ 12-28
  - 冗長リンクと UplinkFast 19-13
  - 初期設定
    - デフォルト 1-11
    - ハードウェア インストール ション ガイドを参照
  - 侵入検知システム
    - IDS 装置を参照
  - 信頼できるタイム ソース、説明 6-3
  - 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 34-39
- す
- スイッチ クラスタリング テクノロジー 4-1
  - スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
  - スイッチ プライオリティ
    - MSTP 18-22
    - STP 17-20
  - スイッチ ポート 10-3
  - スイッチ 仮想インターフェイス
    - SVI を参照
  - スイッチ間リンク
    - ISL を参照
  - スイッチド パケット、ACL 上 31-39
  - スイッチのコンソール ポート 1-4
  - スーパーネット 34-7
  - スケジューリング
    - 階層型キュー
      - CBWFQ 32-35, 32-107
      - LLQ 32-36, 32-118
      - シェーピング 32-36, 32-121
    - 出力キューセット
      - SRR とプライオリティ キューイングの相互作用 32-50
      - WTD スレッシュホールド 32-25, 32-87
      - 共有ウェイト 32-91
      - シェーピング ウェイト 32-90
      - シェーピング モードまたは共有モード 32-25
      - プライオリティ キューイング 32-92
    - 入力キュー
      - WTD スレッシュホールド 32-21, 32-82
      - プライオリティ キューイング 32-22, 32-85

- スケジューリングされたリロード 3-16
- スタートアップ コンフィギュレーション
  - 起動
    - 手動 3-13
    - 特定のイメージ 3-14
  - クリア B-20
  - コンフィギュレーション ファイル
    - 自動ダウンロード 3-12
    - ファイル名の指定 3-12
  - デフォルトのブート コンフィギュレーション 3-12
- スタック変更、効果
  - MSTP 18-8
- スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
- スタティック アクセス ポート
  - VLAN への割り当て 12-13
  - 定義 10-3, 12-4
- スタティック アドレス
  - アドレスを参照
- スタティック ルーティング 34-2
- スタティック ルート、設定 34-92
- スタブ エリア、OSPF 34-34
- スタンバイ コマンド スイッチの要件 4-2
- スタンバイ コマンド スイッチ、要件 4-2
- スタンバイ タイマー、HSRP 35-8
- スタンバイ リンク 20-2
- スタンバイ ルータ 35-2
- ストーム制御
  - 設定 24-4
  - 説明 24-2
  - ディセーブル化 24-6
  - 表示 24-17
- ストラタム、NTP 6-3
- スヌーピング、IGMP 23-2
- スパニングツリー プロトコル
  - STP を参照
- スパニングツリーとネイティブ VLAN 12-21
- スプリット ホライズン
  - IGRP 34-25
  - RIP 34-24
- スレッシユホールド、トラフィック レベル 24-3
- せ
- 制限 VLAN
  - IEEE 802.1x での使用 9-10
  - 設定 9-22
  - 説明 9-10
- 成功の応答、VMPS 12-32
- セカンダリ VLAN 14-2
- セキュア HTTP クライアント
  - 設定 8-48
  - 表示 8-49
- セキュア HTTP サーバ
  - 設定 8-47
  - 表示 8-49
- セキュア MAC アドレス
  - 最大数 24-10
  - 削除 24-14
  - タイプ 24-9
- セキュア ポート、設定 24-9
- セキュリティ機能 1-6
- セキュリティ、ポート 24-9
- 接続問題 41-11, 41-13, 41-15
- 接続、安全なリモート 8-39
- 設定時の注意事項
  - ACL の適用 31-20
  - CFM 36-5
  - EtherChannel 33-10
  - HSRP
    - インターフェイス 35-4
    - 認証およびタイマー 35-8
    - プライオリティ 35-6
  - IEEE 802.1Q トランク 12-21
  - IP マルチキャスト ルーティング 38-9
  - MAC ACL の適用 31-29
  - MSTP 18-16, 19-10
  - multi-VRF CE 34-82
  - OAM マネージャ 36-11
  - RSPAN 27-19
  - SDM テンプレート 7-3
  - SNMP 30-6
  - SPAN 27-11
  - STP 17-13, 19-10
  - UDLD 26-5
  - VLAN
    - 拡張範囲 12-14
    - 標準範囲 12-7
  - VLAN マップ 31-32
  - VMPS 12-33
  - VTP 13-9

- インターフェイス速度およびデプレックス モード 10-14
- 音声 VLAN 15-4
- 階層型 QoS 32-95
- 自動 QoS 32-41
- 自動 RP および BSR 38-10
- 代替ブリッジング 40-4
- 名前指定の ACL 31-15
- 標準 QoS 32-49
- ポートセキュリティ 24-11
- ポートベースの認証 9-13
- 保護ポート 24-7
- ルータ ACL および VLAN マップ 31-38
- 設定例
  - ACL および VLAN マップ 31-33
  - IP ACL 31-22
  - multi-VRF CE 34-84
  - SNMP 30-16
  - VLAN マップ 31-35
  - VMPS 12-33
  - ネットワーク 1-14
  - ネットワーク構成 1-14
  - 表記法 xl
- そ
  - 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
  - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
  - 送信元 /宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
  - 送信元 /宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
  - 送信元のアドレス、ACL 内 31-12
  - 即時脱退処理、IGMP 23-6, 23-11
  - 速度、インターフェイスでの設定 10-14
  - ソフトウェア イメージ
    - tar ファイル形式、説明 B-22
    - 回復手順 41-2
    - ダウンロードおよびアップロードも参照
    - フラッシュ メモリ内の場所 B-21
    - リロードのスケジューリング 3-16
  - ソフトウェア イメージのアップグレード
    - ダウンロードを参照
    - リリース ノートを参照 xli
  - ソフトウェア イメージのリロード 3-16
  - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 41-2
- た
  - 対象読者 xxxix
  - 代替ブリッジング
    - STP
      - hello BPDU インターバル 40-9
      - VLAN ブリッジ STP 40-2
      - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ 40-7
      - キープアライブ メッセージ 17-3
      - 最大アイドル時間 40-10
      - 転送遅延時間 40-9
      - パス コスト 40-8
      - ポート プライオリティ 40-7
      - ポートでのディセーブル化 40-10
    - SVI およびルーテッド ポート 40-2
    - VLAN ブリッジ STP 17-11, 40-2
    - インターフェイスの接続 10-7
    - 概要 40-2
    - 設定時の注意事項 40-4
    - 説明 40-2
    - デフォルト設定 40-4
    - ブリッジ グループ
      - 機能 40-2
      - 削除 40-6
      - 作成 40-5
      - サポート数 40-5
      - 説明 40-2
      - 表示 40-11
    - ブリッジ テーブル
      - クリア 40-11
      - 表示 40-11
    - フレーム転送
      - パケットの転送 40-2
      - パケットのフラッディング 40-2
    - プロトコル、未サポート 40-4
    - 保護ポート 40-5
    - 未サポートのプロトコル 40-4
  - ダイナミック ARP 検査
    - ARP ACL の関連プライオリティと DHCP スヌーピング エントリ 22-5
    - ARP キャッシュ ポイズン 22-2
    - ARP スプーフィング攻撃 22-2
    - ARP パケットの速度制限
      - errdisable ステート 22-5
      - 設定 22-11
      - 説明 22-5



- ARP 要求、説明 22-2
  - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
  - DoS 攻撃、回避 22-11
  - man-in-the-middle 攻撃、説明 22-2
  - インターフェイスの信頼状態 22-3
  - インターフェイスの信頼状態とネットワーク セキュリティの問題 22-3
  - 機能 22-2
  - クリア
    - 統計情報 22-16
    - ログ バッファ 22-16
  - 設定
    - DHCP 環境で 22-7
    - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
    - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
    - ログ バッファ 22-14
  - 設定時の注意事項 22-6
  - 説明 22-2
  - 妥当性チェックの実行 22-13
  - デフォルト設定 22-6
  - 統計情報
    - クリア 22-16
    - 表示 22-16
  - 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
  - 表示
    - ARP ACL 22-16
    - 信頼状態およびレート制限 22-16
    - 設定および動作状態 22-16
    - 統計情報 22-16
    - ログ バッファ 22-16
  - レート制限を超えたことによる errdisable ステート 22-5
  - ログ バッファ
    - クリア 22-16
    - 設定 22-14
    - 表示 22-16
  - ダイナミック アクセス ポート
    - 設定 12-35
    - 定義 10-3
    - 特性 12-4
  - ダイナミック アドレス
    - アドレスを参照
  - ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
    - 再確認 12-35, 12-36
    - 接続タイプ 12-35
    - 説明 12-33
  - トラブルシューティング 12-37
  - ダイナミック ルーティング
    - ISO CLNS 34-68
    - プロトコル 34-2
  - タイムゾーン 6-13
  - ダウンロード
    - イメージファイル
      - FTP の使用 B-27
      - HTTP の使用 B-21
      - RCP の使用 B-32
      - TFTP の使用 B-24
      - 準備 B-23, B-26, B-31
      - 古いイメージの削除 B-25
      - 目的 B-21
    - コンフィギュレーション ファイル
      - FTP の使用 B-14
      - RCP の使用 B-18
      - TFTP の使用 B-12
      - 準備 B-11, B-14, B-17
      - 目的 B-9
  - タグ付きパケット
    - IEEE 802.1Q 16-4
    - レイヤ 2 プロトコル 16-13
  - 単一方向リンク検出プロトコル
    - UDLD を参照
  - 端末回線、パスワードの設定 8-7
- ち**
- 注意、説明 xl
- つ**
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンク検出 26-2
- て**
- ディスタンス ベクタ プロトコル 34-3
  - ディレクトリ
    - 作業ディレクトリの表示 B-4
    - 作成および削除 B-4
    - 変更 B-4
  - テーブル ドロップ
    - 設定 32-107
    - 説明 32-35

- デバイス ディスカバリ プロトコル 25-1
- デバッグ
  - エラー メッセージ出力のリダイレクト 41-18
  - コマンドの使用法 41-17
  - 全システム診断のイネーブル化 41-18
  - 特定機能に関するイネーブル化 41-17
- デフォルト ゲートウェイ 3-11, 34-12
- デフォルト ネットワーク 34-93
- デフォルト ルーティング 34-2
- デフォルト ルート 34-93
- デフォルト設定
  - BGP 34-48
  - CDP 25-2
  - CFM 36-5
  - DHCP 21-9
  - DHCP Option 82 21-9
  - DHCP スヌーピング 21-9
  - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-9
  - DNS 6-17
  - EIGRP 34-40
  - E-LMI および OAM 36-11
  - EoMPLS 37-18
  - EtherChannel 33-9
  - Flex Link 20-5
  - HSRP 35-4
  - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
  - IEEE 802.1x 9-12
  - IGMP 38-29
  - IGMP スヌーピング 23-7
  - IGMP スロットリング 23-25
  - IGMP フィルタリング 23-25
  - IP アドレス、IP ルーティング 34-5
  - IP ソース ガード 21-18
  - IP マルチキャスト ルーティング 38-9
  - IS-IS 34-69
  - MAC Address-Table Move Update 20-5
  - MAC アドレス テーブル 6-22
  - MPLS 37-8
  - MPLS QoS 37-23
  - MSDP 39-4
  - MSTP 18-15
  - multi-VRF CE 34-81
  - MVR 23-19
  - NTP 6-5
  - OSPF 34-28
  - RADIUS 8-21
  - RIP 34-21
  - RMON 28-3
  - RSPAN 27-11
  - SNMP 30-6
  - SPAN 27-11
  - SSL 8-45
  - STP 17-12
  - TACACS+ 8-14
  - UDLD 26-5
  - VLAN 12-9
  - VLAN マッピング 16-9
  - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-22
  - VMPS 12-33
  - VTP 13-8
  - オプションのスパニングツリー機能 19-10
  - 音声 VLAN 15-4
  - 階層型 QoS 32-95
  - 起動 3-12
  - システム メッセージ ロギング 29-4
  - システム名およびプロンプト 6-16
  - 自動 QoS 32-37
  - 代替ブリッジング 40-4
  - ダイナミック ARP 検査 22-6
  - デフォルト スイッチ情報 3-3
  - パスワードおよび権限レベル 8-3
  - バナー 6-19
  - 標準 QoS 32-47
  - プライベート VLAN 14-7
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-17
  - レイヤ 2 インターフェイス 10-13
  - デュアルレベル ポリシー マップ
    - 設定 32-68
    - 説明 32-15
  - デュプレックスモード、設定 10-14
  - 転送遅延時間
    - MSTP 18-24
    - STP 17-21
  - 転送同等クラス 37-3
  - テンプレート、SDM 7-2
- と
  - 等価コスト ルーティング 34-91
  - 同期化、BGP 34-50

- 統計情報
  - CDP 25-5
  - IEEE 802.1x 9-25
  - IP マルチキャストルーティング 38-54
  - OSPF 34-37
  - QoS 入力および出力 32-94
  - RMON イーサネットグループ 28-5
  - RMON グループ履歴 28-4
  - SNMP 入出力 30-17
  - VTP 13-17
  - インターフェイス 10-24
- トークンリング VLAN
  - VTP のサポート 13-5
  - サポート 12-7
- ドメイン ネーム システム
  - DNS を参照
- ドメイン名
  - DNS 6-17
  - VTP 13-9
- ドメイン、ISO IGRP ルーティング 34-68
- トラストポイント、CA 8-43
- トラップ
  - MAC アドレス通知の設定 6-24
  - イネーブル化 6-24, 30-11
  - 概要 30-2, 30-5
  - 通知タイプ 30-11
  - 定義 30-4
  - マネージャの設定 30-11
- トラップドア メカニズム 3-2
- トラフィック
  - フラッドイングのブロック 24-8
  - 分割 31-5
  - 分割されていない 31-5
- トラフィック シェーピング
  - シェーピング、平均レートを参照
- トラフィックの優先処理
  - QoS を参照
- トラブルシューティング
  - CiscoWorks 30-4
  - debug コマンド 41-17
  - PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ問題 38-24
  - ping の使用 41-11
  - SFP のセキュリティと識別 41-10
  - show forward コマンド 41-19
  - traceroute 41-15
  - クラッシュ情報の表示 41-22
  - システム メッセージ ロギング 29-2
  - 接続問題 41-11, 41-13, 41-15
  - 単一方向リンクの検出 26-1
  - パケット転送の判別 41-19
- トランク
  - DTP をサポートしないデバイス 12-19
  - 概要 12-19
  - 許可 VLAN リスト 12-25
  - 設定 12-24, 12-29, 12-31
  - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-27
  - パラレル 12-30
  - ブルーニング適格リスト 12-26
  - ロードシェアリング
    - STP パス コストの設定 12-30
    - STP ポート プライオリティの使用 12-28, 12-29
- トランク フェールオーバー
  - リンクステート トラッキングを参照
- トランク ポート
  - カプセル化 12-24, 12-29, 12-31
  - セキュア MAC アドレス 24-13
  - 設定 12-23
  - 定義 10-3, 12-4
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
- トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-13
- トンネリング
  - IEEE 802.1Q 16-2
  - 定義 16-1
  - レイヤ 2 プロトコル 16-13
- トンネル ポート
  - IEEE 802.1Q、設定 16-7
  - 説明 10-4, 16-2
  - 他の機能との非互換性 16-7
  - 定義 12-5
- な
  - 内部ネイバ、BGP 34-50
  - 夏時間 6-14
  - 名前指定の IP ACL 31-15

- に
- 二重タグ付きパケット
    - 802.1Q トンネリング 16-3
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
  - 認識不能の Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
  - 認証
    - AAA でのローカル モード 8-38
    - EIGRP 34-44
    - HSRP 35-8
    - Kerberos 8-33
    - NTP アソシエーション 6-5
    - RADIUS
      - 鍵 8-22
      - ログイン 8-24
    - TACACS+
      - 鍵 8-14
      - 定義 8-12
      - ログイン 8-15
    - ポートベースの認証を参照
  - 認証鍵、ルーティング プロトコル 34-103
  - 認証不可 VLAN
    - 制限 VLAN を参照
- ね
- ネイティブ VLAN
    - 802.1Q トンネリング 16-5
    - 設定 12-27
    - デフォルト 12-27
  - ネイバ、BGP 34-61
  - ネットワーク管理
    - CDP 25-1
    - RMON 28-1
    - SNMP 30-1
  - ネットワーク構成、例 1-14
- の
- ノンストップ転送認識
    - NSF 認証を参照
- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
  - ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 10-20
  - バイパス モード、レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13, 16-17
  - バインディング
    - DHCP スヌーピング データベース 21-7
    - IP ソース ガード 21-17
    - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-7
  - バインディング データベース
    - DHCP スヌーピング
      - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
      - アドレス、DHCP サーバ
        - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
    - バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
      - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
  - パケットのブロック 24-8
  - パケットの変更、QoS による 32-51
  - パス コスト
    - MSTP 18-21
    - STP 17-18
  - パスワード
    - VTP ドメイン 13-10
    - 暗号化 8-4
    - 回復 41-4
    - 回復のディセーブル化 8-6
    - 概要 8-2
    - 設定
      - Telnet 8-7
      - イネーブル 8-4
      - イネーブル シークレット 8-4
      - ユーザ名 8-7
      - デフォルト設定 8-3
    - パスワードの暗号化 8-4
  - バックアップ インターフェイス
    - Flex Link を参照
  - バックアップ リンク 20-2
  - パッシブ インターフェイス
    - OSPF 34-35
    - 設定 34-101
  - バナー
    - 設定
      - Message-of-The-Day ログイン 6-19
      - ログイン 6-20
      - デフォルト設定 6-19
      - 表示の時期 6-19

- パフォーマンスの特長 1-2
- パラレルパス、ルーティングテーブル内 34-91
- 範囲
  - インターフェイス 10-9
  - マクロ 10-11
- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 31-28
- ピア、BGP 34-61
- 非階層型ポリシー マップ 32-13
- 光ファイバ、単一方向リンク検出 26-2
- ヒストリ
  - コマンドの呼び出し方法 2-6
  - 説明 2-6
  - ディセーブル化 2-7
  - バッファサイズの変更 2-6
- 非対称リンクと 802.1Q トンネリング 16-5
- 非トランキンングモード 12-20
- 表記法
  - コマンド xl
  - 書体 xl
  - マニュアル xl
  - 例 xl
- 表記法、マニュアル xl
- 標準範囲 VLAN
  - 設定モード 12-8
  - 定義 12-1
- ふ
- ファイル
  - tar
    - イメージファイル形式 B-22
    - 作成 B-6
    - 抽出 B-7
    - 内容の表示 B-7
  - クラッシュ情報
    - 説明 41-22
    - 内容の表示 41-22
    - 保存場所 41-22
  - コピー B-5
  - 削除 B-5
  - 内容の表示 B-8
- ファイルシステム
  - 使用可能なファイルシステムの表示 B-2
  - デフォルトの設定 B-3
  - ネットワークファイルシステム名 B-5
  - ファイル情報の表示 B-3
  - ローカルファイルシステム名 B-2
  - 不一致、自動ネゴシエーション 41-9
  - フィルタリング
    - show および more コマンドの出力 2-10
    - VLAN 内 31-31
    - 非 IP トラフィック 31-28
  - フィルタ、IP
    - ACL、IP を参照
  - ブートストラップルータ (BSR)、説明 38-6
  - ブートローダ
    - アクセス方法 3-14
    - 環境変数 3-14
    - 説明 3-2
    - トラップドア メカニズム 3-2
    - プロンプト 3-14
  - 輻輳回避メカニズム
    - WRED 32-34, 32-110, 32-114
    - WTD 32-19, 32-82, 32-87
  - 不正アクセスの防止 8-2
  - 物理ポート 10-3
  - プライオリティ
    - CoS の信頼 15-7
    - CoS の無効化 15-7
    - HSRP 35-6
  - プライベート VLAN
    - IP アドレス 14-4
    - SDM テンプレート 14-5
    - SVI 14-6
    - エンドステーションアクセス 14-3
    - 隔離 VLAN 14-2, 14-3
    - 隔離ポート 14-3
    - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
    - コミュニティポート 14-3
    - 混合ポート 14-3
    - サブドメイン 14-2
    - セカンダリ VLAN 14-2
    - 設定 14-11
    - 設定作業 14-7
    - 設定時の注意事項 14-8, 14-9
    - デフォルト設定 14-7
    - トラフィック 14-5
    - 複数のスイッチにまたがる 14-4
    - プライマリ VLAN 14-2, 14-3

- ポート
    - 隔離 14-3
    - コミュニティ 14-3
    - 混合 14-3
    - 混合ポートの設定 14-13
    - 設定時の注意事項 14-9
    - 説明 12-4
    - ホストポートの設定 14-12
  - マッピング 14-14
  - モニタ 14-16
  - 利点 14-2
  - プライベート VLAN エッジポート
    - 保護ポートを参照
  - プライマリ VLAN 14-2, 14-3
  - プライマリ リンク 20-2
  - フラッシュ デバイス、番号 B-2
  - フラッドイング トラフィック、ブロック 24-8
  - プリエンプト遅延、デフォルト設定 20-5
  - プリエンプト、デフォルト設定 20-5
  - ブリッジグループ
    - 代替ブリッジングを参照
  - ブリッジプロトコル データ ユニット
    - BPDU を参照
  - ブリッジド パケット、ACL 上 31-40
  - プルーニング適格リスト
    - VLAN 13-16
    - VTP プルーニング 13-5
    - 変更 12-26
  - プルーニング、VTP
    - イネーブル化 13-15
    - 概要 13-5
    - 設定例 13-6
    - ポート上でのイネーブル化 12-26
  - プレフィクス リスト、BGP 34-58
  - フロー制御 10-16
  - フローチャート
    - 2 つのレートを使用する QoS 階層型ポリシングおよびマーキング 32-31
    - QoS 階層型キューのキューイングおよびスケジューリング 32-33
    - QoS 出力キューセットのキューイングおよびスケジューリング 32-23
    - QoS 入力のキューイングおよびスケジューリング 32-20
    - QoS、入力分類 32-10
    - 単一レートの QoS 入力ポリシングおよびマーキング 32-15
  - ブロードキャスト ストーム 24-2, 34-14
  - ブロードキャスト パケット
    - 指定 34-14
    - フラッドイング 34-14
  - ブロードキャスト フラッドイング 34-17
  - プロキシ ARP
    - IP ルーティングがディセーブルの場合 34-11
    - 設定 34-11
    - 定義 34-9
  - プロトコル依存モジュール、EIGRP 34-40
  - プロバイダー エッジ デバイス
    - MPLS 37-9
    - MPLS ラベル 37-4
    - multi-VRF CE の使用 34-80
    - VPN 37-7
  - 分析用 トラフィックのミラーリング 27-2
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
  - 編集機能
    - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
    - 折り返し機能 2-10
    - 使用される キーストローク 2-8
- ほ
- ポート
    - Enhanced Services (ES) 10-3, 10-8
    - IEEE 802.1Q トンネル 12-5
    - VLAN 割り当て 12-13
    - アクセス 10-3
    - 識別 10-8
    - スイッチ 10-3
    - スタティック アクセス 12-4, 12-13
    - セキュア 24-9
    - 設定 10-8
    - ダイナミック アクセス 12-4
    - トランク 12-4, 12-19
    - 番号 10-8
    - ブロッキング 24-8
    - 保護 24-7
    - ルーテッド 10-4
  - ポート ACL
    - タイプ 31-4
    - 定義 31-2

- ポート シャットダウンの応答、VMPS 12-32
- ポート セキュリティ
  - QoS の信頼境界 32-56
  - 違反 24-10
  - エージング 24-15
  - 固定学習 24-10
  - 設定 24-12
  - 設定時の注意事項 24-11
  - 説明 24-9
  - デフォルト設定 24-11
  - トランク ポート 24-13
  - 表示 24-17
- ポート チャンネル
  - EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
  - MSTP 18-20
  - STP 17-17
- ポート ブロッキング 24-8
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-3
- ポート信頼状態
  - IP Phone のポート セキュリティの確保 32-56
  - QoS ドメイン間 32-58
  - QoS ドメイン内 32-52
  - 分類オプション 32-8
- ポートベースの認証
  - EAP 応答 / アイデンティティ フレーム 9-3
  - EAP 要求 / アイデンティティ フレーム 9-3
  - EAPOL 開始フレーム 9-3
  - VLAN 割り当て
    - AAA 許可 9-14
    - 設定作業 9-8
    - 説明 9-8
    - 特性 9-8
  - アカウントイング 9-5
    - 設定 9-24
  - 以前のリリースからのアップグレード 32-42
  - 音声 VLAN
    - PVID 9-7
    - VVID 9-7
    - 説明 9-7
  - 開始とメッセージ交換 9-3
  - カプセル化 9-3
  - クライアント、定義 9-2
  - ゲスト VLAN
    - 設定時の注意事項 9-9, 9-10
    - 説明 9-9
- スイッチ
  - RADIUS クライアント 9-3
  - プロキシ 9-3
- 設定
  - IEEE 802.1x 認証 9-14
  - RADIUS サーバ 9-16
  - ゲスト VLAN 9-21
  - 手動によるクライアントの再認証 9-17
  - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-15
  - スイッチとクライアント間の再送信時間 9-18
  - スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 9-19
  - 制限 VLAN 9-22
  - 待機時間 9-17
  - 定期的再認証 9-17
  - ホスト モード 9-20
  - 設定時の注意事項 9-13
  - 説明 9-2
  - デバイスの役割 9-2
  - デフォルト設定 9-12
  - デフォルト値へのリセット 9-23
  - 統計情報の表示 9-25
  - 統計情報、表示 9-25
  - トポロジー、サポート対象 9-5
  - 認証サーバ
    - RADIUS サーバ 9-3
    - 定義 9-3
  - 複数ホスト モード、説明 9-20
  - 方式リスト 9-14
- ポート
  - 音声 VLAN 9-7
  - 許可および無許可 9-4
  - 許可ステートと dot1x port-control コマンド 9-4
- ポート セキュリティ
  - 音声 VLAN 9-7
  - 説明 9-6
  - 相互作用 9-6
  - 複数ホスト モード 9-20
- ユーザ単位の ACL
  - AAA 許可 9-14
  - RADIUS サーバアトリビュート 9-11
  - 設定作業 9-11
  - 説明 9-11
- 保護ポート 24-7

- ホスト ポート
    - 種類 14-3
    - 設定 14-12
  - ホスト、ダイナミックポートの上限 12-37
  - ポリサー
    - 階層型、2つのレート 32-30
    - サポート数 32-50, 32-96
    - 集約ポリサーの設定の表示 32-94
    - 設定
      - 一致した各トラフィック クラス 32-65
      - 階層型、2つのレート 32-100
      - 複数のトラフィック クラス 32-75
    - タイプ 32-13
    - 入力タイプ 32-13
    - 入力、単一レート 32-14
  - ポリシー マップ
    - SVIでの階層 32-12
    - デュアルレベル 32-12
    - 非階層型単一レベル 32-12
  - ポリシング
    - SVIでの階層型デュアルレベル
      - デュアルレベル ポリシー マップを参照
    - 階層型、説明 32-30
    - トークンバケットアルゴリズム 32-14, 32-31
    - 入力、説明 32-12
- ま**
- マーキング
    - アクション
      - 階層型ポリシー マップ 32-101, 32-104
      - 入力ポリシー マップ 32-65, 32-75
    - 説明
      - 階層型 32-7, 32-30
      - 入力 32-6, 32-14
  - マクロ
    - Smartport マクロを参照
  - マニュアル
    - 対象読者 xxxix
    - 目的 xxxix
  - マルチキャスト グループ
    - 加入 23-3
    - スタティックな加入 23-10
    - 即時脱退 23-6
    - 脱退 23-5
  - マルチキャスト ストーム 24-2
  - マルチキャスト パケット
    - ACL 上 31-41
    - ブロッキング 24-8
  - マルチキャスト ルータ インターフェイス、情報表示 23-14
  - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9
  - マルチプロトコル ラベル スイッチング
    - MPLS を参照
- め**
- メッセージ
    - ACL 違反のログ 31-16
      - バナーを使用してユーザに送信 6-19
    - メトリック変換、ルーティングプロトコル間 34-97
    - メトリック、BGP 内 34-55
    - メトロ タグ 16-3
    - メンテナンス エンド ポイント
      - MEP を参照 (MEP)
    - メンテナンス 中間ポイント
      - MIP を参照
    - メンバー スイッチ
      - 管理 4-4
      - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
      - 定義 4-2
      - 要件 4-3
    - メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-4
- も**
- モジュール番号 10-8
  - モニタ
    - 802.1Q トンネリング 16-25
    - ACL の設定 31-42
    - BGP 34-66
    - CDP 25-5
    - CEF 34-91
    - EIGRP 34-45
    - E-LMI 36-15
    - EoMPLS 37-26
    - Flex Link 20-10
    - HSRP 35-10
    - IGMP
      - スヌーピング 23-14
      - フィルタ 23-29



- IP
    - アドレス テーブル 34-18
    - マルチキャスト ルーティング 38-54
    - ルート 34-104
  - IS-IS 34-77
  - ISO CLNS 34-77
  - MAC Address-Table Move Update 20-10
  - MPLS 37-26
  - MSDP ピア 39-18
  - multi-VRF CE 34-89
  - MVR 23-23
  - OAM マネージャ 36-15
  - OSPF 34-37
  - RP マッピング情報 38-24
  - SA メッセージ 39-18
  - SFP
    - ステータス 10-24, 41-10
  - SFP ステータス 1-10
  - VLAN 12-18
    - フィルタ 31-42
    - マップ 31-42
  - VMPS 12-36
  - VTP 13-17
    - アクセス グループ 31-42
    - イーサネット CFM 36-9
    - インターフェイス 10-24
  - 機能 1-10
    - スイッチ間のトラフィック フロー 28-2
    - 速度およびデプレックス モード 10-16
    - 代替ブリッジング 40-11
    - 単一方向リンクのケーブル 26-2
    - トラフィック抑制 24-17
    - トンネリング 16-25
    - プライベート VLAN 14-16
    - プローブによる分析用ネットワーク トラフィック 27-3
  - ポート
    - ブロッキング 24-17
    - 保護 24-17
  - マルチキャスト ルータ インターフェイス 23-14
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-25
- ゆ
- 有効期間、短縮 17-9
  - ユーザ EXEC モード 2-2
- ユーザ名ベースの認証 8-7
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-4
    - CPU パケット 6-27
    - スタティック アドレスの追加 6-27
    - 設定時の注意事項 6-26
    - 説明 6-26
    - ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
    - マルチキャスト アドレス 6-26
    - ルータ MAC アドレス 6-26
  - ユニキャスト ストーム 24-2
  - ユニキャスト トラフィック、ブロック 24-8
- ら
- ライン コンフィギュレーション モード 2-3
  - ラベル スイッチング ルータ
    - LSR を参照
  - ラベル バインディング 37-3
  - ラベル、MPLS 37-3
- り
- リセット、BGP 内 34-53
  - リモート SPAN
    - RSPAN を参照
  - 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 29-10
  - リンク障害
    - 単一方向の検出 18-8
  - リンク冗長性
    - Flex Link を参照
  - リンクステート トラッキング
    - 設定 33-24
    - 説明 33-22
  - リンクステート プロトコル 34-3
  - リンク、単一方向 26-2
  - 隣接テーブル、CEF 34-90
- る
- ルータ ACL
    - タイプ 31-3
    - 定義 31-2
  - ルータ ID、OSPF 34-37
  - ルーティング
    - 情報の再配信 34-94

- スタティック 34-2
- ダイナミック 34-2
- デフォルト 34-2
- ルーティング ドメイン連合、BGP 34-63
- ルーティング プロトコルの管理距離 34-92
- ルーティングできないプロトコルに属するトラフィックの転送 40-1
- ルーテッド パケット、ACL 上 31-40
- ルーテッド ポート
  - IP アドレス 10-20, 34-4
  - 設定 34-4
  - 定義 10-4
- ルート ガード
  - イネーブル化 19-15
  - 説明 19-8
- ルート サマライズ、OSPF 34-35
- ルート スイッチ
  - MSTP 18-18
  - STP 17-15
- ルート ターゲット、VPN 34-81
- ルート ダンピング化、BGP 34-65
- ルート マップ
  - BGP 34-56
  - PBR 34-98
- ルート リフレクタ、BGP 34-64
- ルート 計算タイマー、OSPF 34-35
- ルート 選択、BGP 34-54
- ループ ガード
  - イネーブル化 19-16
  - 説明 19-9

## れ

- レイヤ 2 traceroute
  - ARP 41-14
  - CDP 41-13
  - IP アドレスおよびサブネット 41-14
  - MAC アドレスおよび VLAN 41-13
  - 使用上の注意事項 41-13
  - 説明 41-13
  - ポートに複数のデバイス 41-14
  - マルチキャスト トラフィック 41-13
  - ユニキャスト トラフィック 41-13
- レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-13
- レイヤ 2 トランク 12-19
- レイヤ 2 フレーム、CoS による分類 32-3

- レイヤ 2 プロトコル トンネリング
  - EtherChannel の設定 16-20
  - 設定 16-16
  - 注意事項 16-17
  - 定義 16-13
  - デフォルト設定 16-17
  - バイパス モード 16-13, 16-17
- レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウン スレッシュホールド 16-17
- レイヤ 2 プロトコル パケットの廃棄スレッシュホールド 16-17
- レイヤ 3 インターフェイス
  - IP アドレスの割り当て 34-6
  - タイプ 34-4
  - レイヤ 2 モードからの変更 34-6
- レイヤ 3 機能 1-9
- レイヤ 3 パケット、分類方法 32-3
- レポートの抑制、IGMP
  - 説明 23-6
  - ディセーブル化 23-13

## ろ

- ログ メッセージ
  - システム メッセージ ロギングを参照
- ログ メッセージのシーケンス番号 29-8
- ログ メッセージのタイムスタンプ 29-8
- ログ メッセージ、ACL 31-10
- ログイン バナー 6-19
- ログイン 認証
  - RADIUS による 8-24
  - TACACS+ による 8-15